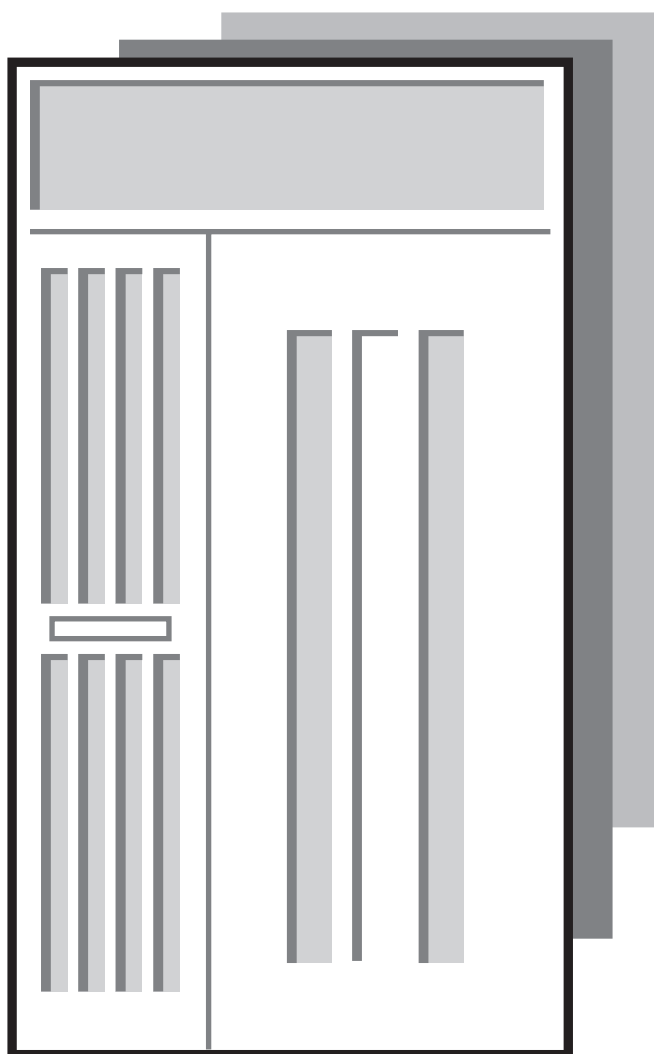


# 改装用断熱ドア リネスタ／リペラル

## 施工説明書



### 施工にあたって

- ご使用前に、「施工説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この説明書に掲載の商品は、使用用途・場所などを限定するもの、専門施工を必要とするもの、定期点検を必要とするものがあります。販売店又は専門施工店にご確認ください。
- 商品には安全にお使いいただくための本体表示ラベルが張ってあるものがあります。ご使用の際はご確認の上、正しくお使いください。

# 目次

---

■組立て・施工される方へのお願い	1・2
■「改装用断熱ドア リネスタ／リベラル」は	3
■施工工程モデル	4
■現場施工までの準備	5
■納まり参考図	6～9
■製品の切詰め	10～18
■製品の組立て	19～23
■製品の取付け	24～41
■取付けチェックポイント集	42～46

# 組立て・施工される方へのお願い

## ■組立て・施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …組立て・施工を誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

- 本製品は、木造・土間納まり専用です。外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際は、枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$  ( $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) 以上にしてください。  
製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。
- 錠セットを取付けてからドア本体をつり込んで枠を躯体に固定してください。錠セットを取付ける前に枠につり込むと、ドアが勝手に開き危険です。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。

## ■組立て上のおお願い

- ガラス寸法は、部材切断寸法表から算出してください。
- 必ず指定のねじで組立てしてください。
- 枠の組立てねじは $2.5\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$  ( $25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) の締め付けトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。
- 袖上棧を組立てる際は、袖上棧のリブを無目にはめこんでください。
- ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠補強アングル（別売り）を枠組立て時に取り付けてください。
- 押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。

## ■施工上のお願い

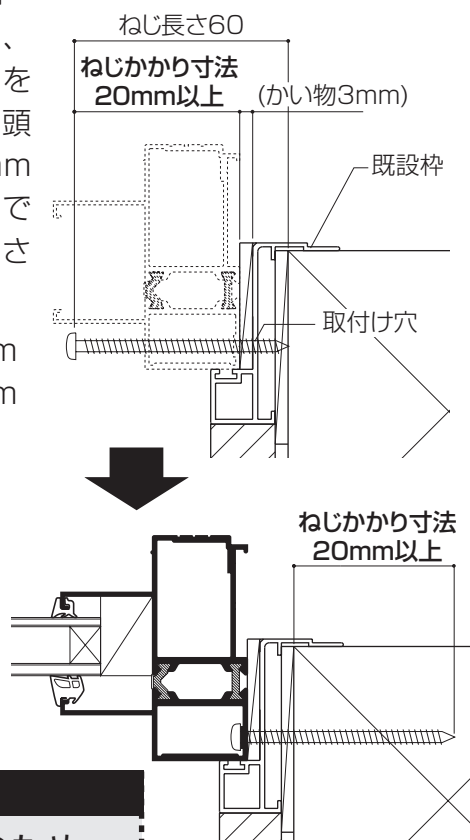
- 必ず指定の取付けねじで固定してください。
- 現場施工に入る前に製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 内外の額縁は現場の納まりに合わせて切詰めてください。
- 親子納まりの場合は、下枠のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、受け金具の両脇にかい物を入れてください。
- 親子納まりで下枠とポーチ面の立上がり大きい場合は、下枠のフランス落とし受け金具部分の強度確保のため、必ず下枠補強アングルを取付けてください。
- フィッシャプラグ付丸木ねじの躯体外壁面への穴あけは、下枠強度確保のため指定の穴径、深さにて加工してください。

### 〔ねじかかり寸法の確認〕

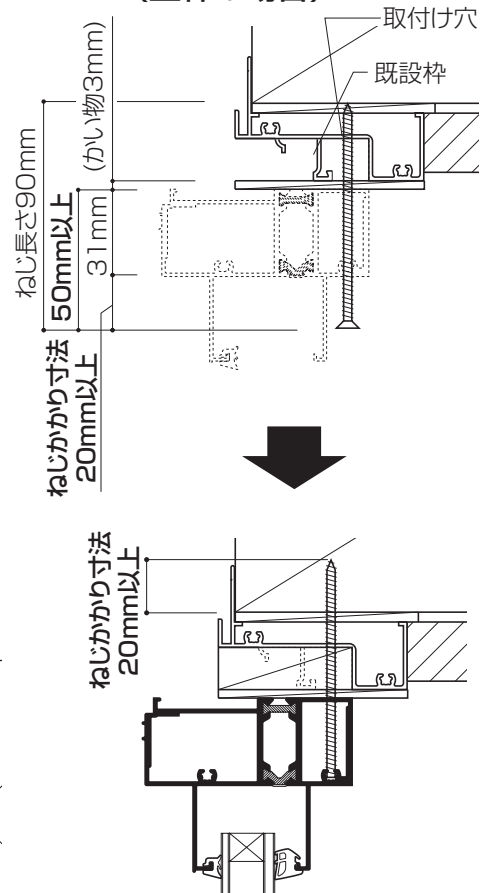
躯体にねじ止めする前に、既設枠の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが上枠は50mm以上、縦枠は20mm以上であることを確認してください。

- ※縦枠用…ねじ長さ60mm
- ※上枠用…ねじ長さ90mm

### (縦枠の場合)



### (上枠の場合)



### ▲注意

- 製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。

### 〔取付ける柱のねじ込みトルクの確認〕

製品を取付ける前に取付ける柱に腐りがなく、枠の取付けねじのねじ込みトルクが1.2N・m (12kgf・cm) 以上であることを確認してください。

### ▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時、1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。

# 「改装用断熱ドアリネスタ／リペラル」は…

- 『改装用断熱ドアリネスタ／リペラル』は、既設のドア枠（※1）の上から新しい枠を取付ける、改装専用玄関ドアとして設計されています。

（※1）トステム対象商品名	クラウン・キング・クィーン・プリンス・アルック・プレカラー・クィーン木彫・ウッディ・ハイクィーン・リファイン18・ロイヤルドア・ロイヤルドアDX・ロイヤルアルミドア・ロイヤルアルビック・クラーク・コロネット・グランド・アルロング・マイム・ベルモント・ラゴндаE・F・プレナス20内付・クリエラ19内付
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- （※2）その他商品 上記以外の商品については、柱へのねじかかり寸法が20mm以上の商品のみを対象とします。

## ■製品特長

1. 枠の取外し及び付帯工事が不要なため、外壁や内装をキズつけません。
2. 部材の加工・組立てが簡単です。
3. 内外の額縁に調整幅が設けてあるため、どんな枠にもきれいに納まります。
4. 内外の額縁の調整とシーリングだけで、雨仕舞いなどの仕上げが完了します。
5. 品ぞろえが豊富です。

●リネスタ （木目調鋼板）	枠…………… ランマ付き(片開き・親子・片袖・両袖) ランマなし(片開き・親子) 製品色…………… オータムブラウン(ミルブラウン・バロックチーク用) シャイングレー(クレメントブラウン用) 本体…………… DH2198タイプ 6デザイン DH1900タイプ 6デザイン 子扉…………… DH2198タイプ 4デザイン DH1900タイプ 4デザイン 製品色…………… クレメントブラウン・ミルブラウン・バロックチーク
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●リペラル(鋼板)	枠…………… ランマ付き(片開き・親子・片袖・両袖) ランマなし(片開き・親子) 本体…………… DH1900タイプ 5デザイン DH2198タイプ 5デザイン 子扉…………… DH1900タイプ 3デザイン DH2198タイプ 3デザイン 製品色…………… ホワイト・ブラック・オータムブラウン・シャイングレー
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 施工工程モデル

## 施工工程

お施主さまとの打合わせ

施工前の作業

製品の組立て

既設ドアの取外し

新しい枠・ドアの取付け

枠外周部のシーリング処理

額縁の取付け

額縁外周部のシーリング処理

ガラス入れ・部品の取付け

お引渡し

## 概要

- 現場を確認し、既設玄関への取付可否を調査します。
  - 使用する製品のタイプを決定・見積りし、工事希望日を確認します。
  - 製品を発注し、納入日を確認後工事日を決定します。
- 
- 既設枠開口に合わせ、枠を切詰める必要がある場合は、製品を切詰めます。
  - ガラス・ビード・オプション部品を手配します。  
※18・19mm用後付けビードは製品に同梱されています。  
※高防犯仕様の場合、防犯合わせ複層ガラス用後付けビードは、製品に同梱されています。
- 
- 工事日までに製品を組立てます。
- 
- 製品基本寸法が現場に合うことを確認します。
  - 工具を準備し、外枠だけ残して順に取外します。
- 
- 開口部の水平・垂直を正しく出し、新しい枠を取付けます。
  - 新しいドアをつり込み、建付け調整をします。
- 
- 雨仕舞の処理のため、シーリングをします。
- 
- 納まりに合わせて、額縁を切詰めます。
  - 納まりに合う調整溝に、額縁を取付けます。
  - 溝ふたを取付けます。
- 
- 雨仕舞の処理のため、シーリングをします。
- 
- ガラスを入れ、ドアクローザ・ドアガードなどを取付けます。
  - 押縁の両端末に、すき間ふさぎのためシーリングをします。
- 
- お施主さまに製品を引渡します。

# 現場施工までの準備

## 1. 既設枠開口寸法の測定と取付可否の調査

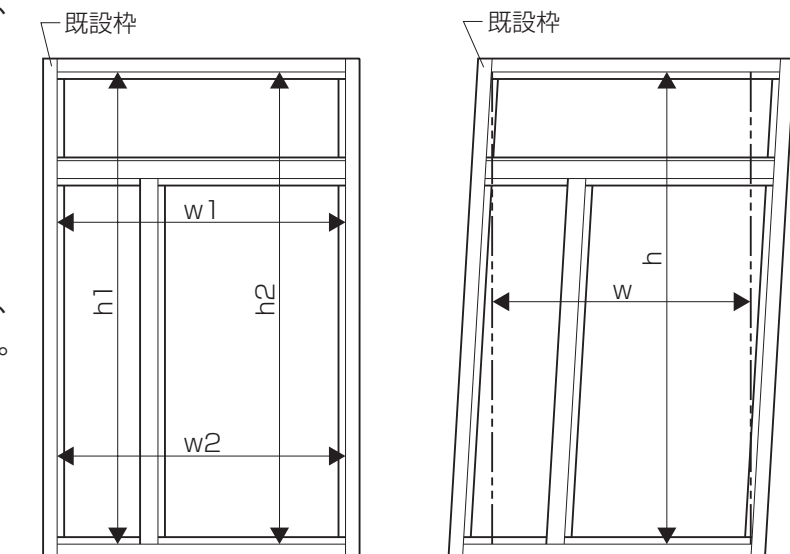
※巻末の取付けチェックポイント集に従い、既設玄関への取付可否を調査します

- ①既設枠の断面形状を確認します。
- ②「取付けチェックポイント集」(巻末)を参考に既設枠開口のw1・2とh1・2を測定し、小さい方を既設枠開口寸法とします。

※右図のように既設枠に狂いがある場合は、水平・垂直をみて寸法を測ってください。

- ③既設枠開口寸法より5mm程度小さく製品基本寸法を設定します。(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)

※製品基本寸法が、切詰め範囲内であることを確認してください。



## 2. 枠のタイプ、本体、子扉デザインの決定

●取付可能であれば、製品基本寸法を設定し下記項目を決定します。

※単品カタログをご使用ください。

- ①**枠のタイプ** (片開き・親子・片袖・両袖、ランマ、袖、つり元、製品色)
- ②**本体、子扉のタイプ** (デザイン・つり元・製品色)
- ③**工事費の見積り** (既設ドアの取外し・製品の切詰め・組立て・取付け費・ガラス代など)
- ④**工事日**

※本製品のランマ付タイプは、既設枠の開口に合わせて、現場でランマ、袖のガラス部分を切詰めますが、ドア本体・子扉は切詰められません。

ランマなしタイプは枠の切詰めができませんので、特注にて発注してください。

## 3. 製品の切詰め(ランマ付タイプのみ)

- ①部材切断寸法表で切詰め方向を確認し、製品を切詰めます。

### ■製品切詰め限界寸法

- ②以下の部材加工をします。

- 1.縦枠(切欠き・穴あけ)
- 2.ランマアタッチメント(穴あけ)
- 3.無目(穴あけ・切欠き)
- 4.袖下棧(切欠き)

		ランマ付き			
		片開き	親子	片袖	両袖
H		2150以上			
W	ポスト・飾り付き	不可	不可	1115以上	1414以上
	ポスト・飾りなし			1110以上	1384以上

※加工形状は部材一覧を参照してください。

## 4. ガラス・オプション部品の手配

- ①部材切断寸法表の寸法計算式で、ガラス寸法を算出します。

- ②工事日に合わせて、ガラス・オプション部品を手配します。

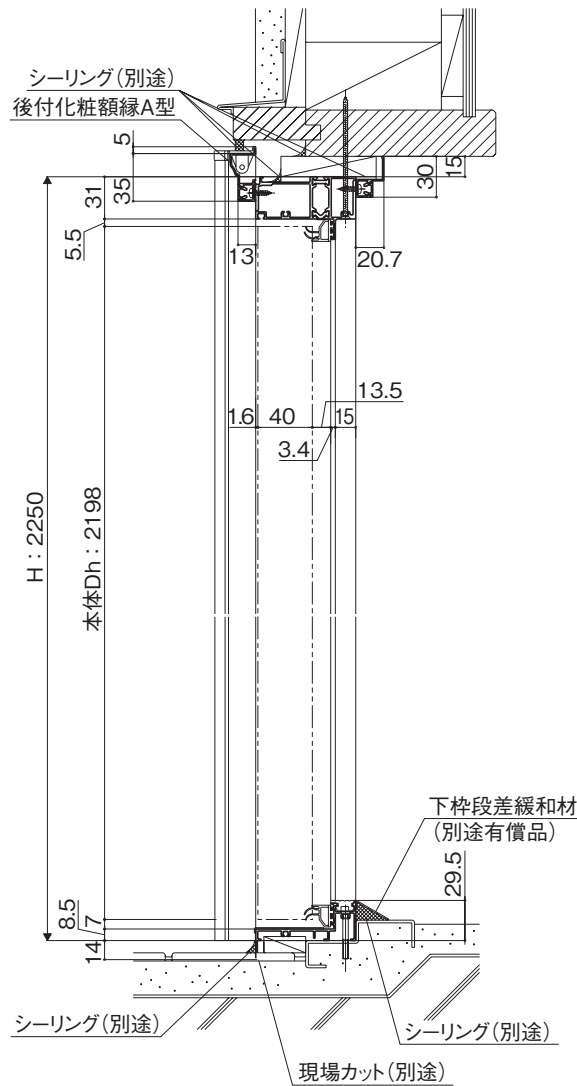
※18・19mm用後付けビードは製品に同梱されています

# 納まり参考図

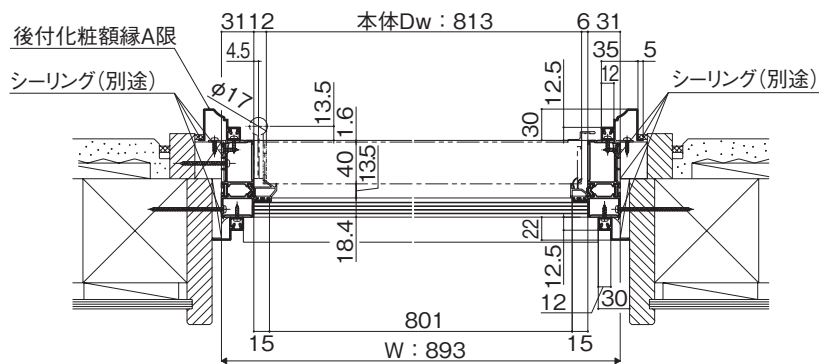
## ■木枠納まり

〔ランマなし〕

●本体部(縦断面図)

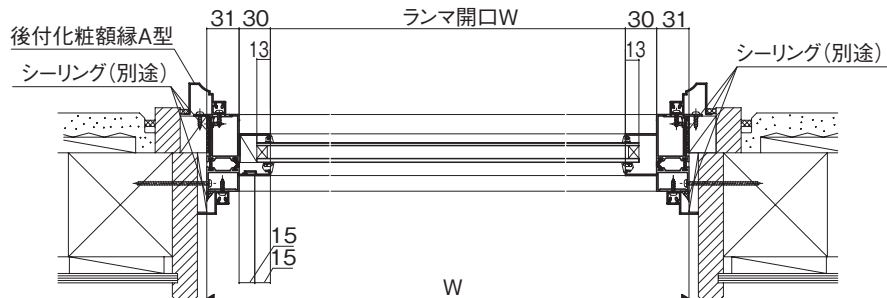


●片開き  
(横断面図)



〔ランマ付き〕

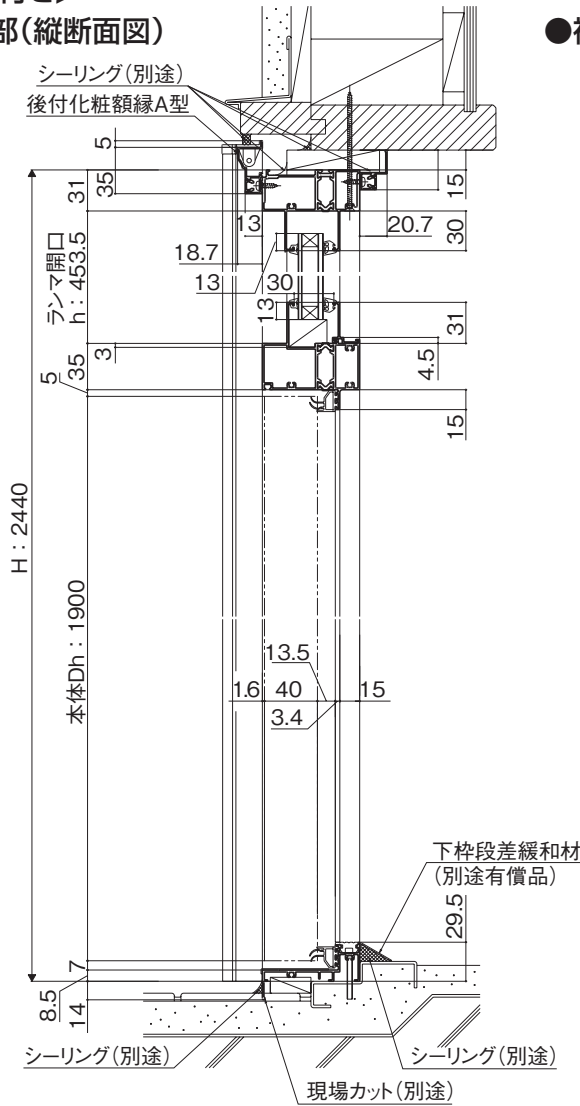
●ランマ部  
(横断面図)



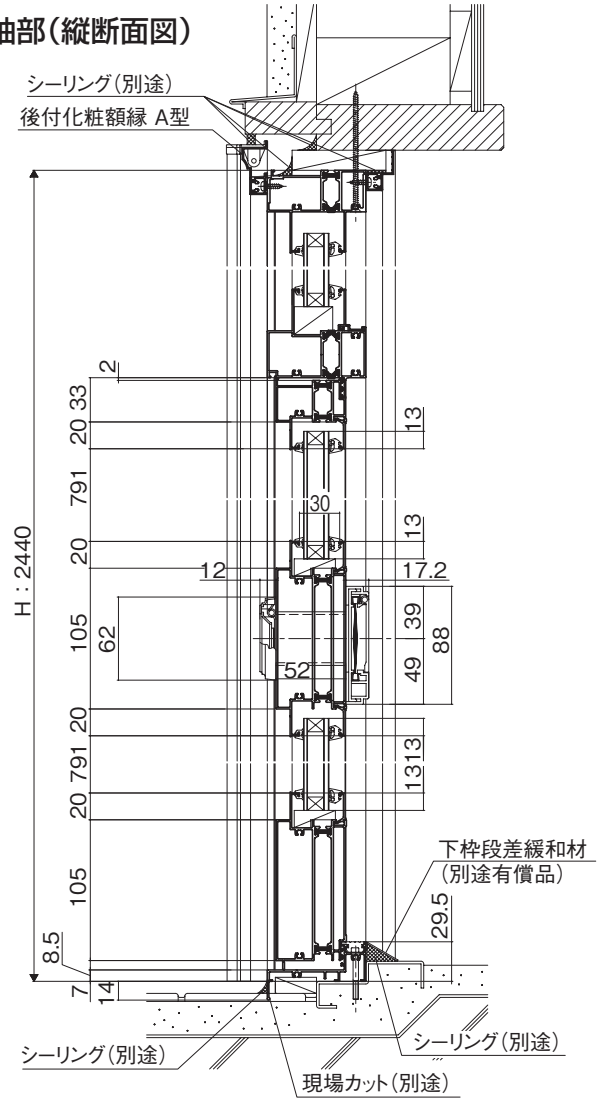
# ■木枠納まり

〔ランマ付き〕

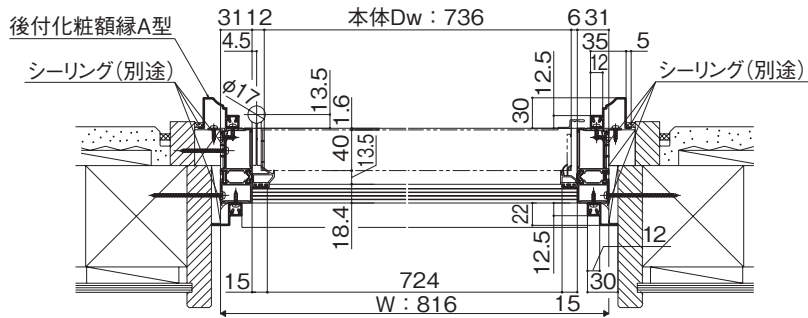
●本体部(縦断面図)



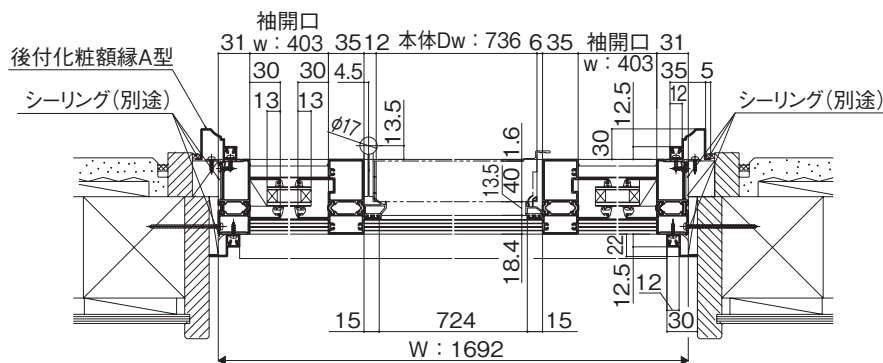
●袖部(縦断面図)



●片開き  
(横断面図)



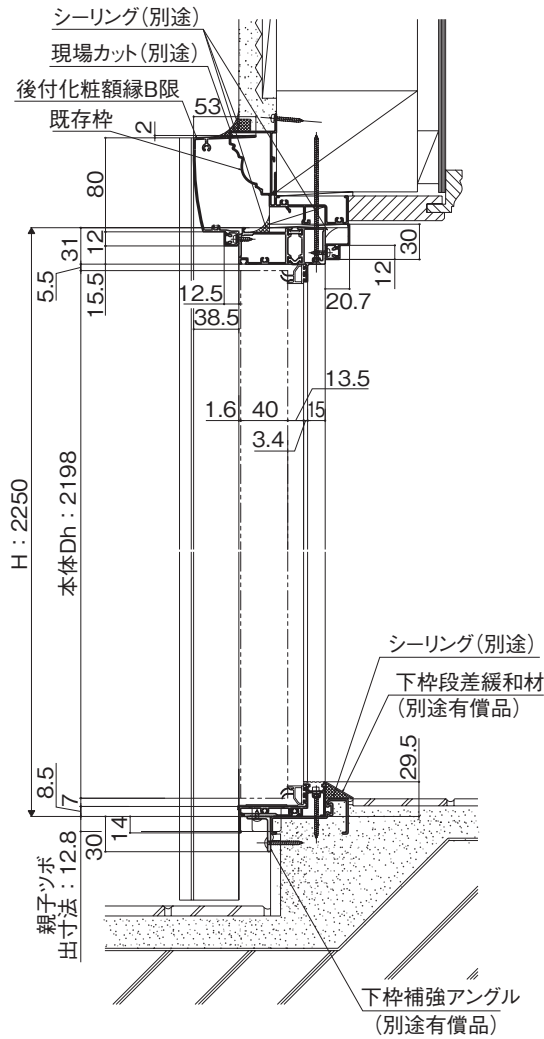
●両袖  
(横断面図)



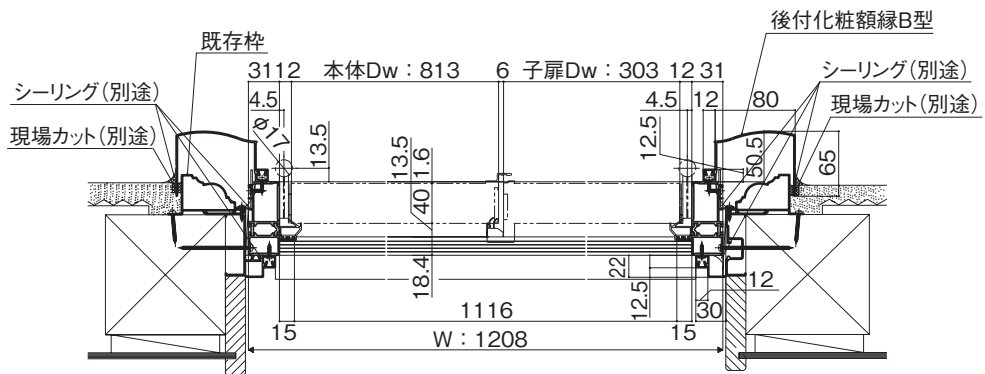
## ■アルミ枠納まり

〔ランマなし〕

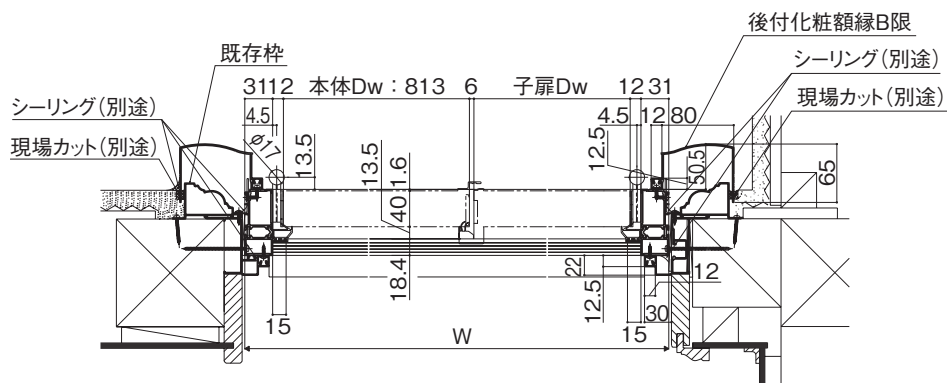
●本体部(縦断面図)



●親子(横断面図)



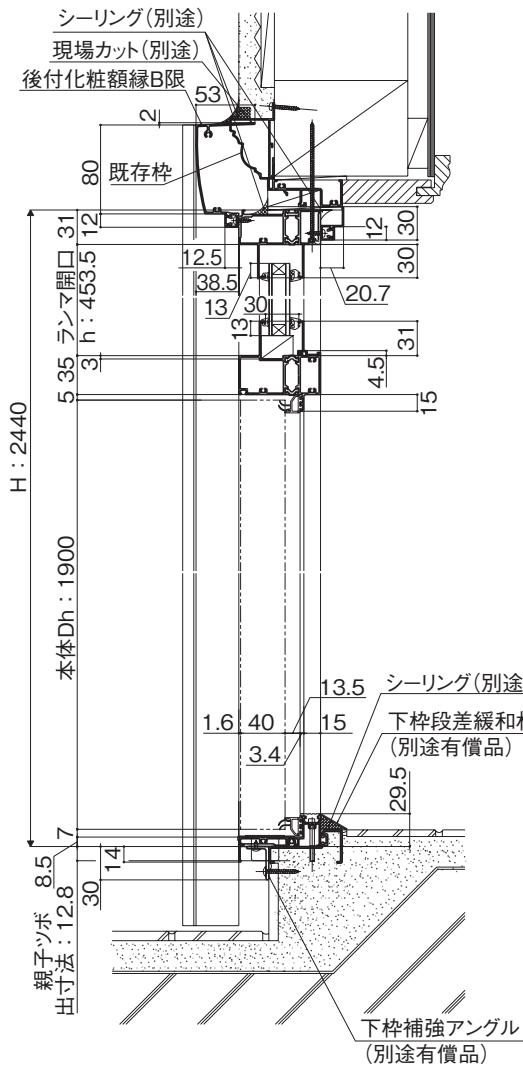
●親子入隅(横断面図)



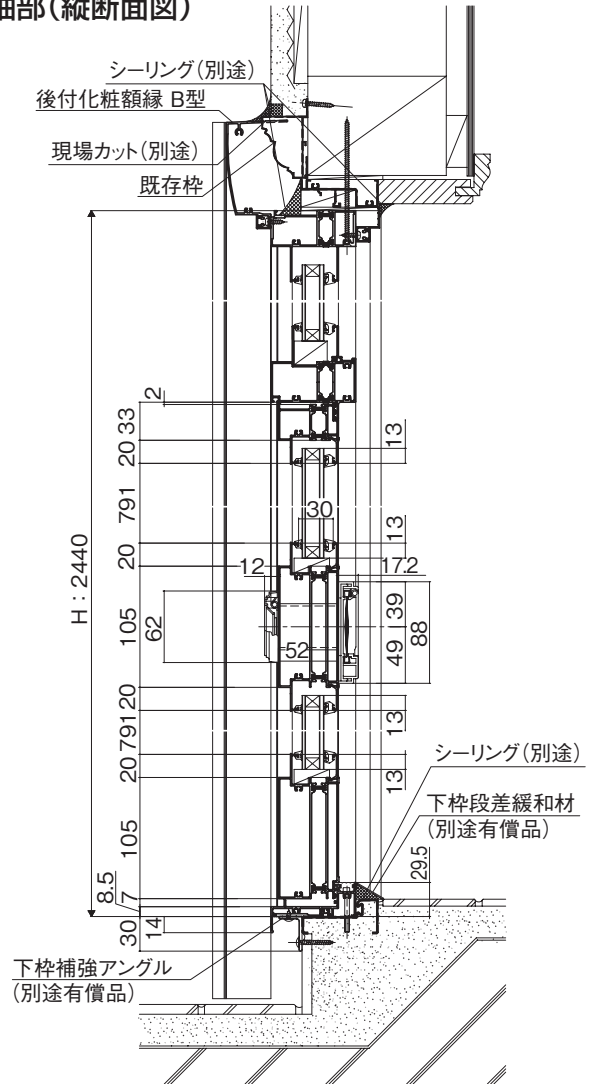
# ■木枠納まり

〔ランマ付き〕

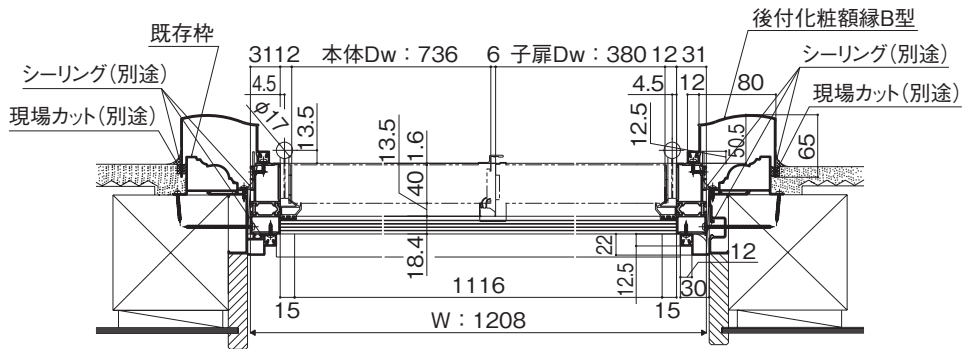
## ●本体部(縦断面図)



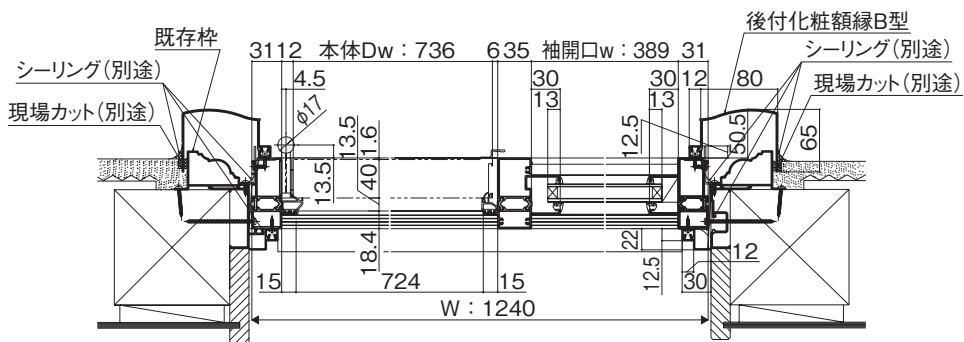
## ●袖部(縦断面図)



## ●親子(横断面図)



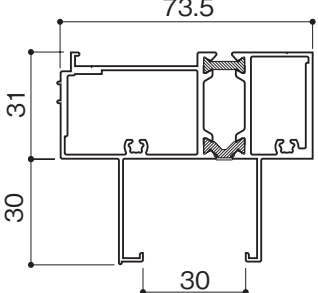
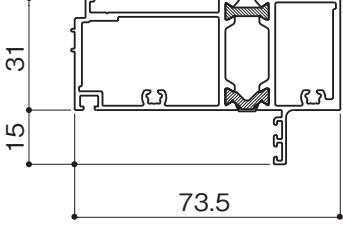
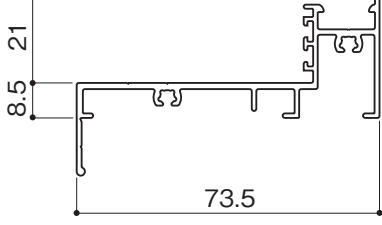
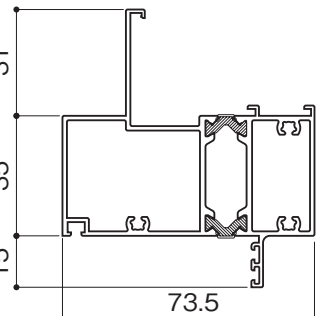
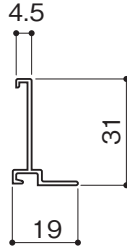
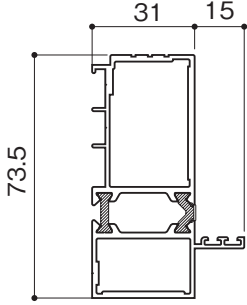
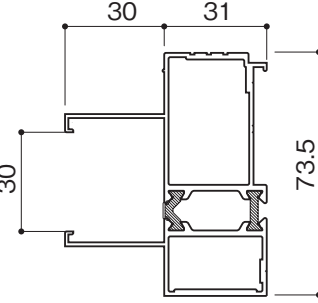
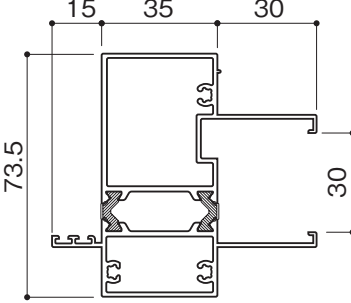
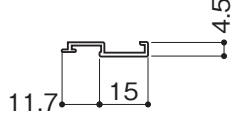
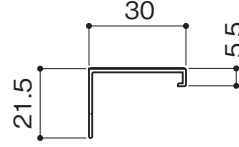
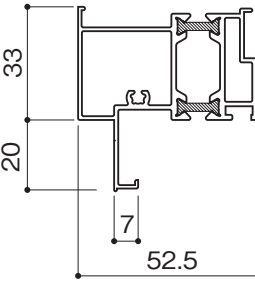
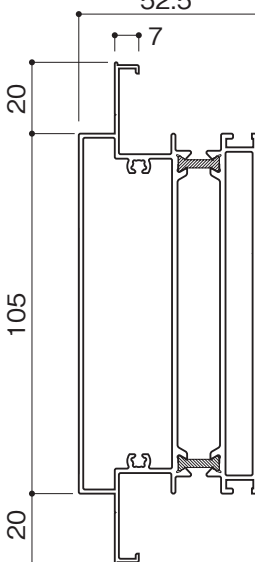
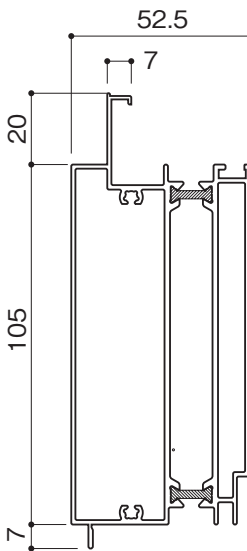
## ●片袖(横断面図)

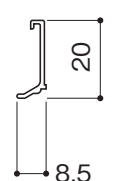
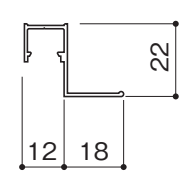
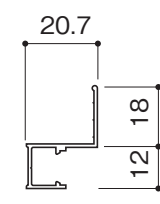
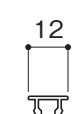


# 製品の切詰め

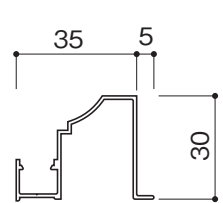
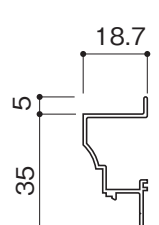
## ■部材一覧

### ●枠

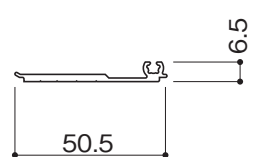
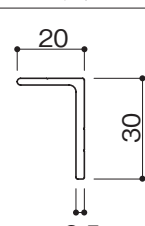
<p>ランマ上枠</p> 	<p>上 枠</p> 	<p>下 枠</p> 
<p>無 目</p> 	<p>押 縁</p> 	<p>つり元(ロック)側縦枠</p> 
<p>袖側縦枠</p> 	<p>つり元(ロック)側方立</p> 	<p>ランマアタッチメント(内)</p>  <p>ランマアタッチメント(外)</p> 
<p>袖上棧</p> 	<p>袖中棧</p> 	<p>袖下棧</p> 

袖押縁	内額縁(縦)	内額縁(横)	溝ふた
			 ※化粧額縁も兼用

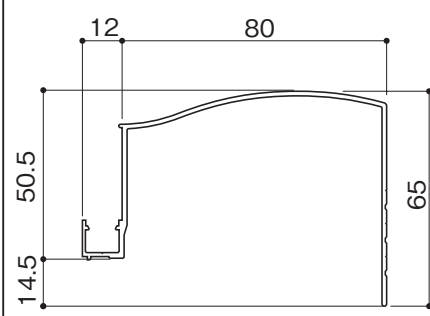
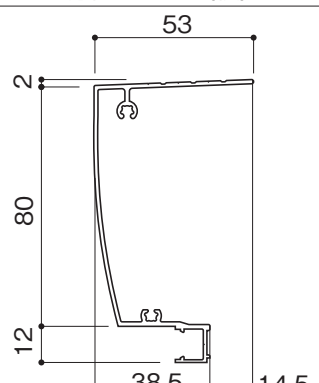
●後付化粧額縁A

後付化粧額縁A(縦)	後付化粧額縁A(横)
	

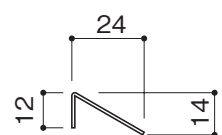
●下枠補強アングル(オプション)

下枠アタッチメント

アングル


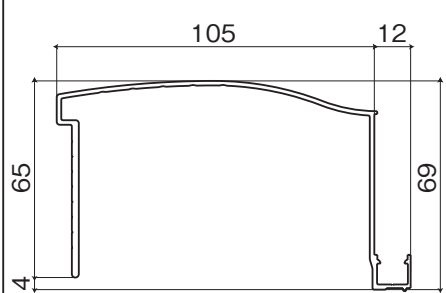
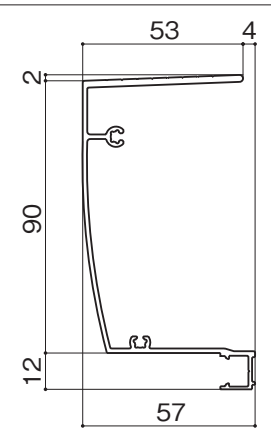
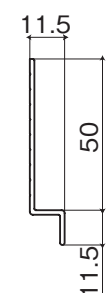
●後付化粧額縁B

後付化粧額縁B(縦)	後付化粧額縁B(横)
	

●下枠段差緩和材(オプション)

下枠段差緩和材

材質：ステンレス

●後付化粧額縁D

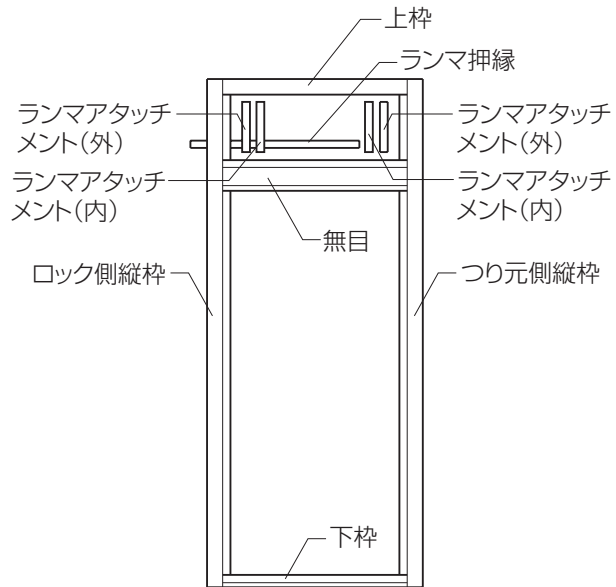
後付化粧額縁D(縦)	後付化粧額縁D(横)	壁厚調整材
		

## ■部材構成図

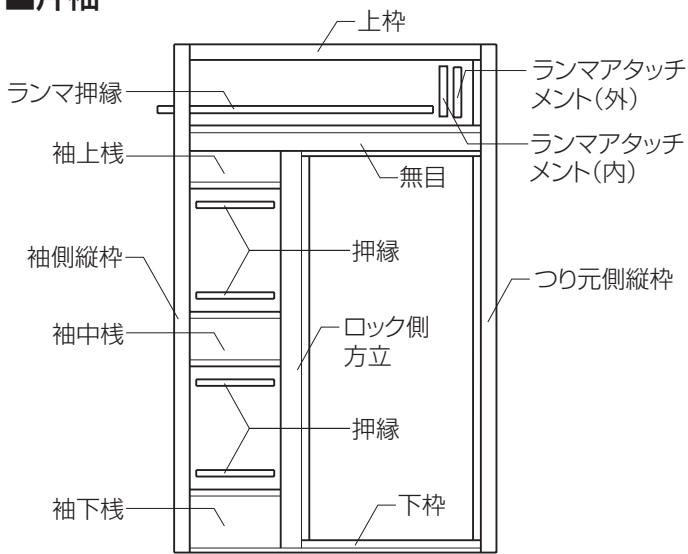
※図は外観右つり元の場合です。左つり元の場合、左右対照となります。

### ■片開き・親子

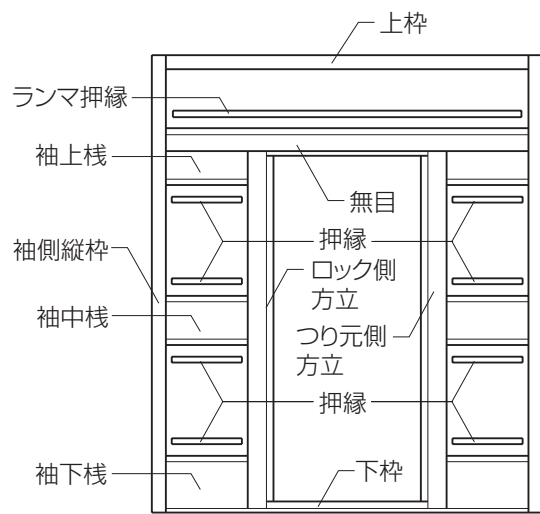
- ランマなしの場合、無目、ランマアタッチメント、ランマ押縁はありません。
- 親子の場合、ロック側縦枠はつり元側縦枠に変わります。



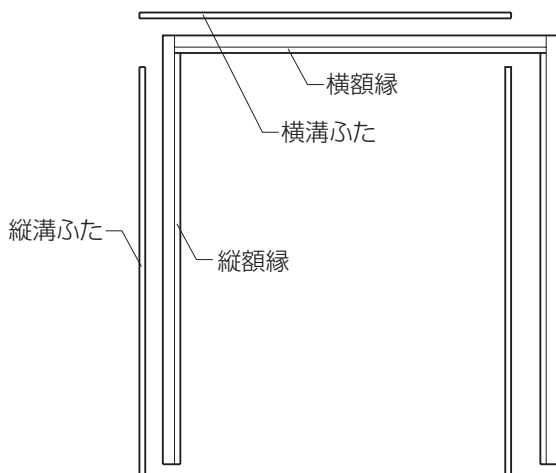
### ■片袖



### ■両袖

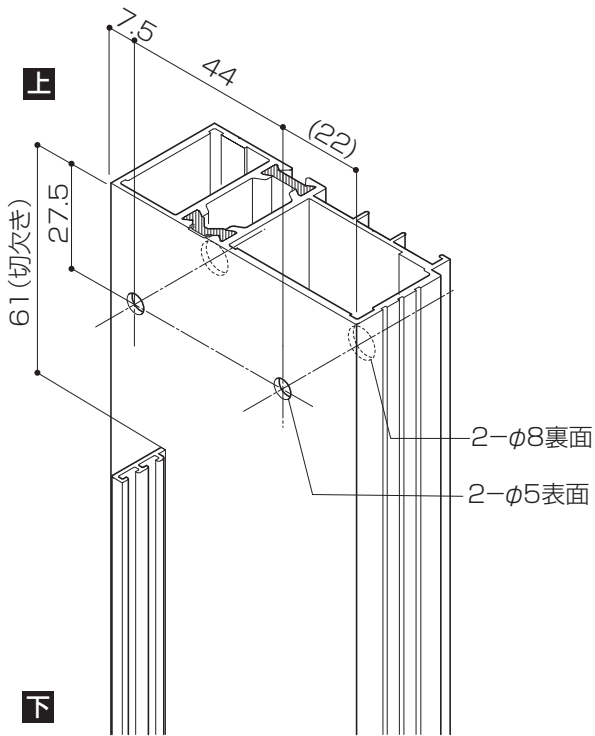


### ■内額縁

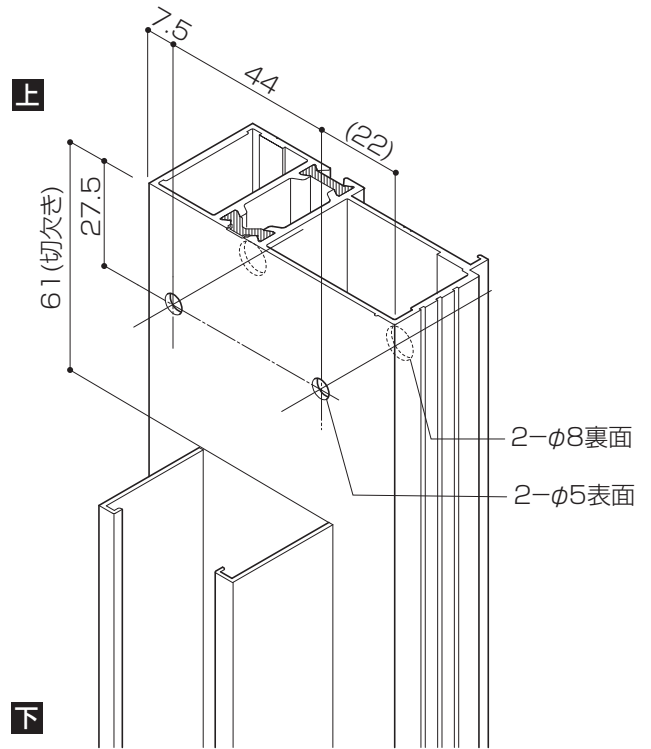


■部材現場加工一覧

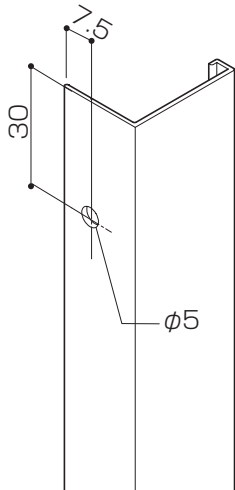
■つり元側縦枠(ロック)



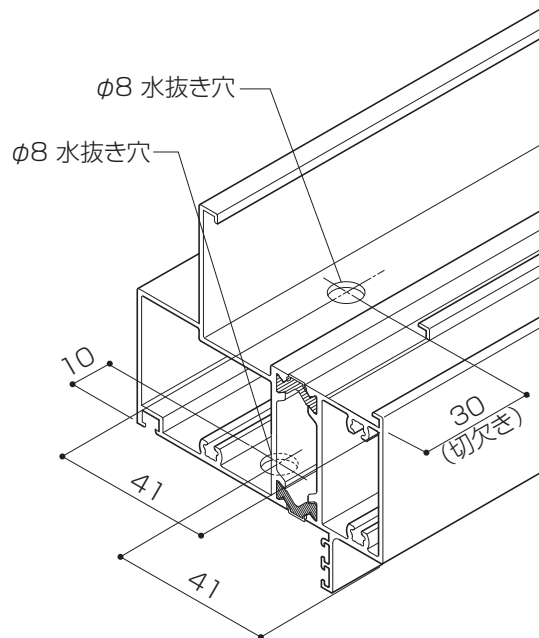
■袖側縦枠



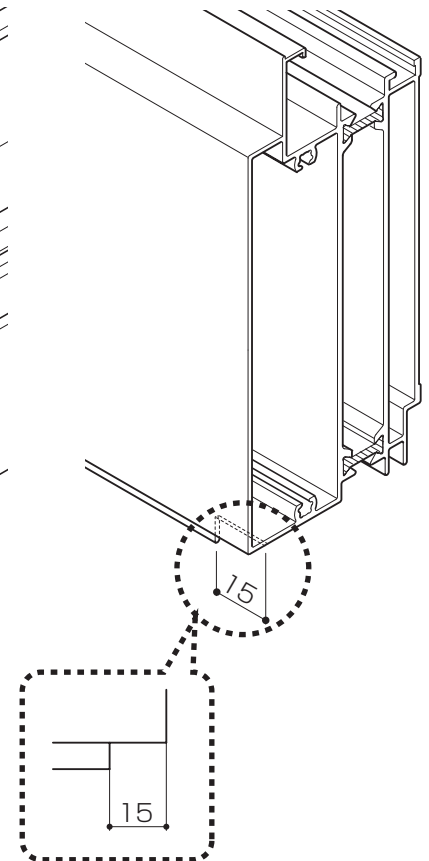
■ランマアタッチメント(外)



■無目



■袖下柵



## ■部材切断寸法表【片開きランマ付き】

### ■現場寸法表

(単位：mm)

既設枠開口寸法			改装用断熱ドアリネスタ/リペラル		切詰め限界寸法
h	h1		基本寸法	基本寸法公式	片開きランマ付
	h2		H=	$h(\text{小さい方})-5$	H：2150以上
w	w1		W=	$w(\text{小さい方})-5$	W：730以上
w2					

※既設枠開口寸法はh・wとも各2箇所測定し、小さい方の寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくします。

### ■各部材切断寸法表

※化粧額縁（縦）及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（開口下部よりそれぞれ外：100mm、内：30mm長い設定）の切断寸法計算式です。

#### ●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片開きランマ付	加工有無
縦部材	つり元(ロック)側縦枠		H	上部	2本	○
	内額縁		※H+47	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(室内側)		※H+17	指定なし	2本	△
	ランマアタッチメント(外)		H-2048	指定なし	2本	○
	ランマアタッチメント(内)		H-2017	指定なし	2本	△
横部材	上枠	753(固定)	753	切詰め不可	1本	×
	無目	753(固定)	753	切詰め不可	1本	×
	下枠	753(固定)	753	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	693.5(固定)	693.5	切詰め不可	1本	×
	内額縁	815(固定)	815	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(室内側)	815(固定)	815	切詰め不可	1本	×

#### ●化粧額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片開きランマ付	加工有無
化粧額縁A	化粧額縁A(縦)		※(H+122)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+87)	指定なし	2本	△
	化粧額縁A(横)	820(固定)	820	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)	820(固定)	820	切詰め不可	1本	×
化粧額縁B	化粧額縁B(縦)		※(H+174.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁B(横)	801(固定)	801	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)	800(固定)	800	切詰め不可	1本	×
化粧額縁D	化粧額縁D(縦)		※(H+184.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	壁厚調整材(縦)		※(H+184.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁D(横)		818(固定)	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)		817(固定)	切詰め不可	1本	×
	壁厚調整材(横)		998(固定)	切詰め不可	1本	×

## ■部材切断寸法表【親子ランマ付き】

### ■現場寸法表

(単位：mm)

既設枠開口寸法			改装用断熱ドアリネスタ/リペラル		切詰め限界寸法
h	w		基本寸法	基本寸法公式	親子ランマ付
h1	w1		H=	h(小さい方)-5	H：2150以上
h2	w2		W=	w(小さい方)-5	W：1015以上

※既設枠開口寸法はh・wとも各2箇所測定し、小さい方の寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくします。

### ■各部材切断寸法表

※化粧額縁（縦）及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（開口下部よりそれぞれ外：100mm、内：30mm長い設定）の切断寸法計算式です。

#### ●枠

○・・・加工有り：△・・・切断のみ：×・・・加工不要

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無	
				親子ランマ付		
縦部材	つり元側縦枠	H	上部	2本	○	
	内額縁	※H+47	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(室内側)	※H+17	指定なし	2本	△	
	ランマアタッチメント(外)	H-2048	指定なし	2本	○	
	ランマアタッチメント(内)	H-2017	指定なし	2本	△	
横部材	上枠	1145(固定)	1145	切詰め不可	1本	×
	無目	1145(固定)	1145	切詰め不可	1本	×
	下枠	1145(固定)	1145	切詰め不可	1本	×
	無目押縁	1085.5(固定)	1085.5	切詰め不可	1本	×
	内額縁	1207(固定)	1207	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(室内側)	1207(固定)	1207	切詰め不可	1本	×

#### ●化粧額縁

	切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無	
				親子ランマ付		
化粧額縁A	化粧額縁A(縦)	※(H+122)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)	※(H+87)	指定なし	2本	△	
	化粧額縁A(横)	1212(固定)	1212	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)	1212(固定)	1212	切詰め不可	1本	×
化粧額縁B	化粧額縁B(縦)	※(H+174.5)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)	※(H+96.5)	指定なし	2本	△	
	化粧額縁B(横)	1193(固定)	1193	切詰め不可	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)	1192	1192	切詰め不可	1本	×
化粧額縁D	化粧額縁D(縦)	※(H+184.5)	ラベル表示あり	2本	△	
	溝ふた(縦)(室外側)	※(H+96.5)	指定なし	2本	△	
	壁厚調整材(縦)	※(H+184.5)	指定なし	2本	△	
	化粧額縁D(横)	1210(固定)	1210	切詰め不要	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)	1209(固定)	1209	切詰め不要	1本	×
	壁厚調整材(横)	1390(固定)	1390	切詰め不要	1本	×

## ■部材切断寸法表【片袖ランマ付き】

### ■現場寸法表

(単位：mm)

既設枠開口寸法			改装用断熱ドア/リペア		切詰め限界寸法
			基本寸法	基本寸法公式	片袖ランマ付
h	h1		H=	h(小さい方)-5	H：2150以上
	h2				
w	w1	W=	w(小さい方)-5	W：1153以上…鋳物袖飾り、ポスト付き W：1115以上…アルミ袖飾り、ポスト付き W：1100以上…アルミ袖飾り、ポストなし	
	w2				

※既設枠開口寸法はh・wとも各2箇所測定し、小さい方の寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくします。

### ■各部材切断寸法表

※化粧額縁（縦）及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（開口下部よりそれぞれ外：100mm、内：30mm長い設定）の切断寸法計算式です。

#### ●枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片袖ランマ付	加工有無	
縦部材	縦枠	つり元(ロック)側縦枠	H	上部	1本	○	
		袖側縦枠	H	上部	1本	○	
	方立	ロック側方立	1911(固定)	1911	切詰め不可	1本	×
		内額縁		※H+47	下部	2本	△
		溝ふた(室内側)		※H+17	指定なし	2本	△
		ランマアタッチメント(外)		H-2048	指定なし	1本	○
		ランマアタッチメント(内)		H-2017	指定なし	1本	△
横部材		上枠	W-63	袖側	1本	△	
		無目	W-63	袖側	1本	○	
		下枠	W-63	袖側	1本	△	
	片袖	袖上棧		W-852	両端均等	1本	△
		袖中棧		W-852	両端均等	1本	△
		袖下棧		W-852	両端均等	1本	○
		袖押縁		W-911.5	指定なし	4本	△
		無目押縁		W-122.5	指定なし	1本	△
		内額縁		W-1	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(室内側)		W-1	指定なし	1本	△	

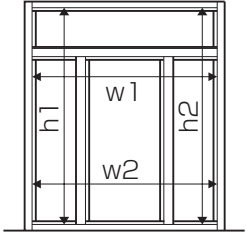
#### ●化粧額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 片袖ランマ付	加工有無
化粧額縁A	化粧額縁A(縦)		※(H+122)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+87)	指定なし	2本	△
	化粧額縁A(横)		W+4	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		W+4	指定なし	1本	△
化粧額縁B	化粧額縁B(縦)		※(H+174.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁B(横)		W-15	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		W-16	指定なし	1本	△
化粧額縁D	化粧額縁D(縦)		※(H+184.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	壁厚調整材(縦)		※(H+184.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁D(横)		W+2	ラベル表示あり	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)		W+1	指定なし	1本	×
	壁厚調整材(横)		W+182	指定なし	1本	×

## ■部材切断寸法表【両袖ランマ付き】

### ■現場寸法表

(単位：mm)

既設枠開口寸法			改装用断熱ドアリネスタ/リペラル		切詰め限界寸法
h	h1		基本寸法	基本寸法公式	両袖ランマ付
	w		h2	H=	$h(\text{小さい方})-5$
w1			W=	$w(\text{小さい方})-5$	W：1488以上… 鋳物袖飾り、ポスト付き W：1414以上… アルミ袖飾り、ポスト付き W：1384以上… アルミ袖飾り、ポストなし
	w2				

※既設枠開口寸法はh・wとも各2箇所測定し、小さい方の寸法に決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくします。

### ■各部材切断寸法表

※化粧額縁（縦）及び溝ふたは現場に合わせて切断寸法を決めます。（ ）内の式は、出荷時（開口下部よりそれぞれ外：100mm、内：30mm長い設定）の切断寸法計算式です。

#### ● 枠

○…加工有り：△…切断のみ：×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付	加工有無	
縦部材	縦枠	袖側縦枠	H	上部	2本	○	
	方立	ロック側方立	1911(固定)	1911	切詰め不可	1本	×
		つり元側方立	1911(固定)	1911	切詰め不可	1本	×
	内額縁			※H+47	ラベル表示あり	2本	△
溝ふた(室内側)			※H+17	指定なし	2本	△	
横部材	上枠			W-63	両端均等	1本	△
	無目			W-63	両端均等	1本	○
	下枠			W-63	両端均等	1本	△
	両袖	袖上棧		$(W-888)/2$	両端均等	2本	△
		袖中棧		$(W-888)/2$	両端均等	2本	△
		袖下棧		$(W-888)/2$	両端均等	2本	○
		袖押縁		$(W-1007)/2$	指定なし	8本	△
	無目押縁			W-122.5	切詰め不可	1本	△
	内額縁			W-1	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(室内側)			W-1	指定なし	1本	△

#### ●化粧額縁

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数 両袖ランマ付	加工有無
化粧額縁A	化粧額縁A(縦)		※(H+122)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+87)	指定なし	2本	△
	化粧額縁A(横)		W+4	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		W+4	指定なし	1本	△
化粧額縁B	化粧額縁B(縦)		※(H+174.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁B(横)		W-15	ラベル表示あり	1本	△
	溝ふた(横)(室外側)		W-16	指定なし	1本	△
化粧額縁D	化粧額縁D(縦)		※(H+184.5)	ラベル表示あり	2本	△
	溝ふた(縦)(室外側)		※(H+96.5)	指定なし	2本	△
	壁厚調整材(縦)		※(H+184.5)	指定なし	2本	△
	化粧額縁D(横)		W+2	ラベル表示あり	1本	×
	溝ふた(横)(室外側)		W+1	指定なし	1本	×
	壁厚調整材(横)		W+182	指定なし	1本	×

## ■ガラス切断寸法表

### ■片開きランマ付き

		寸 法	寸法計算式	使用ガラス枚数
				片開きランマ付
ランマ	ガラスH		H-2022	1枚
	ガラスW		W-96	

### ■親子ランマ付き

		寸 法	寸法計算式	使用ガラス枚数
				親子ランマ付
ランマ	ガラスH		H-2022	1枚
	ガラスW		W-96	

### ■片袖ランマ付き

		寸 法	寸法計算式	使用ガラス枚数
				片袖ランマ付
ランマ	ガラスH		H-2022	1枚
	ガラスW		W-96	
袖	ガラスH	817(固定)	817	2枚
	ガラスW		W-885	

### ■両袖ランマ付き

		寸 法	寸法計算式	使用ガラス枚数
				両袖ランマ付
ランマ	ガラスH		H-2022	1枚
	ガラスW		W-96	
袖	ガラスH	817(固定)	817	4枚
	ガラスW		(W-954) / 2	

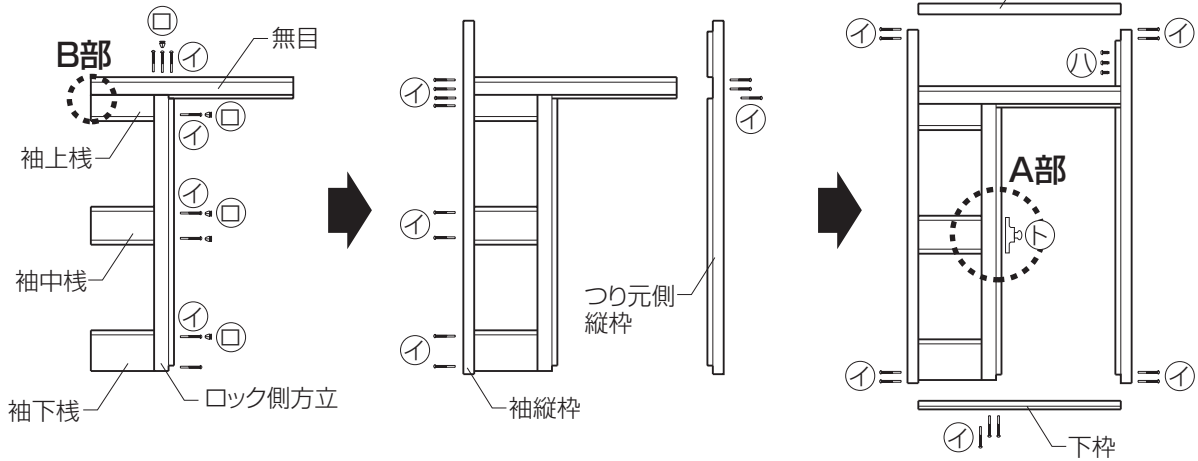
## ■先付ビード切断寸法表

※出荷時の先付ビードの寸法は、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定しています。  
組立の際は、部材の切断寸法Lに合わせて、先付ビードの切断寸法を決めます。

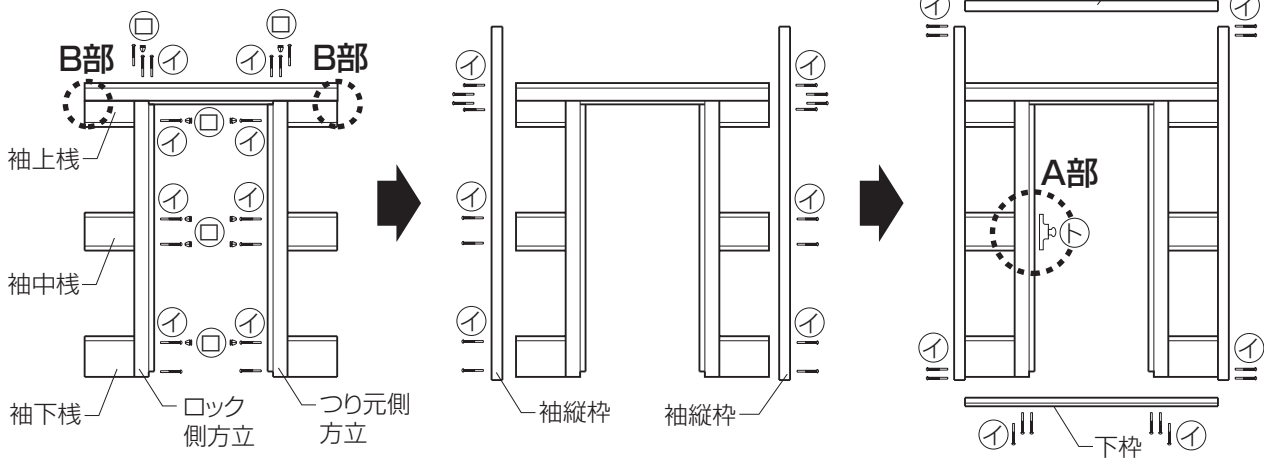
		寸 法	寸法計算式
	ランマ上枠		L-63
	無 目		
	袖上棧		
	袖中棧		
	袖下棧		



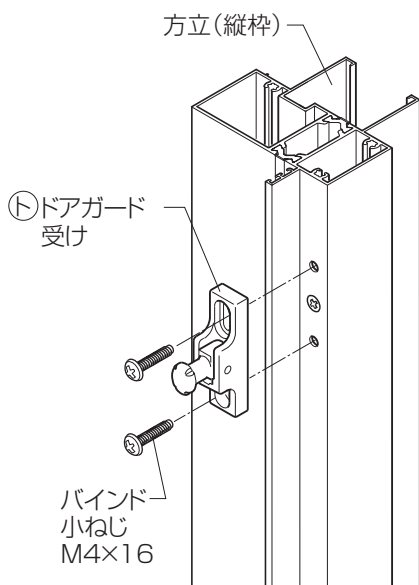
〔片袖〕



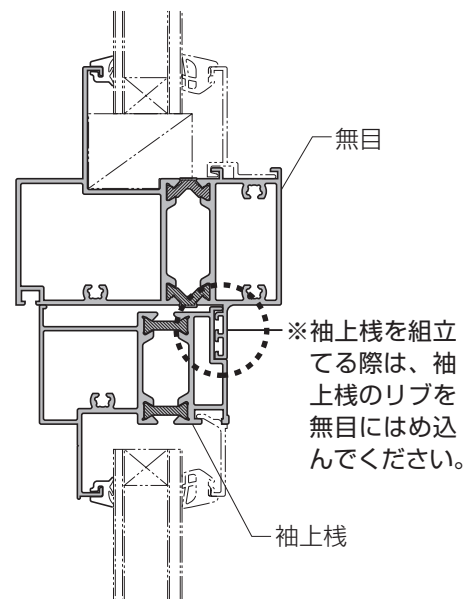
〔両袖〕



■A部詳細図

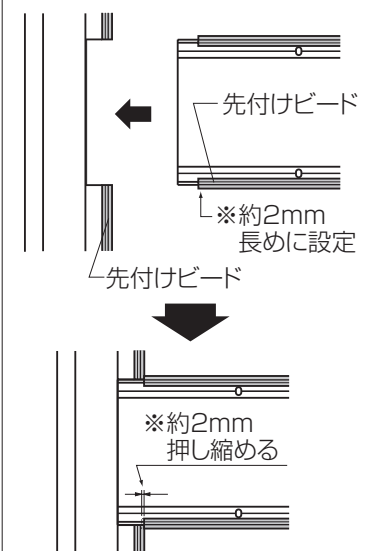


■B部詳細図



■先付けビードのコーナー部納まりについて

※組立ての際、コーナー部の先付けビードが正しく納まっているか確認してください。先付けビードは、温度変化による伸縮を考慮し、長めに設定してあります。

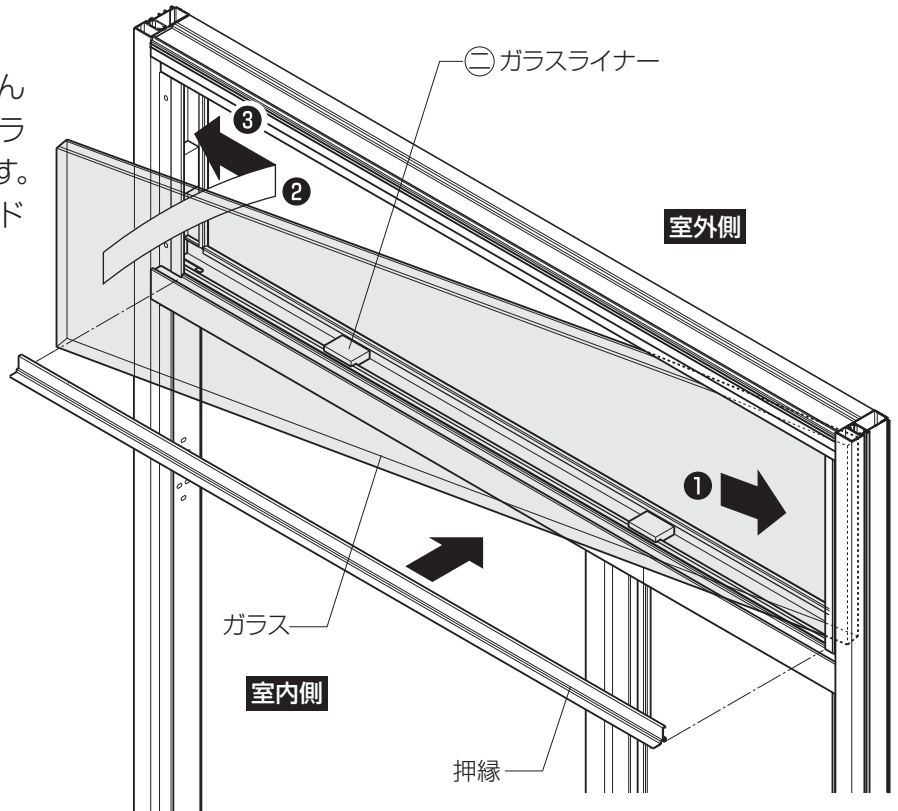
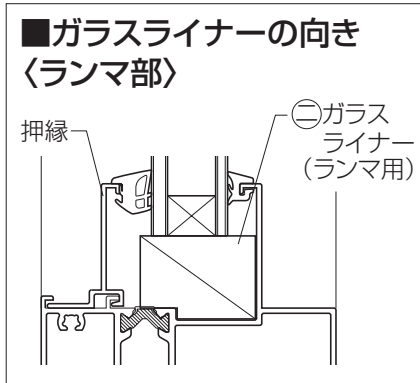


## 2 ガラス入れ・袖飾りの取付け 〔ランマ〕

●ガラスをライナーのない方からけん  
どんで入れ、ガラスを持上げてガラ  
スライナーをガラスの下に置きます。  
押縁を取付け、同梱の後付けビード  
で固定します。

※ガラスライナーの向きを確認  
してください。

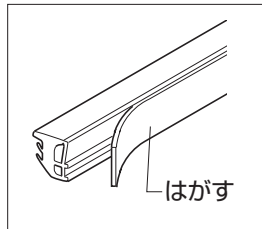
※押縁の両端末にシーリング材  
を充てんしてください。



### 〈後付けビードの使い方〉

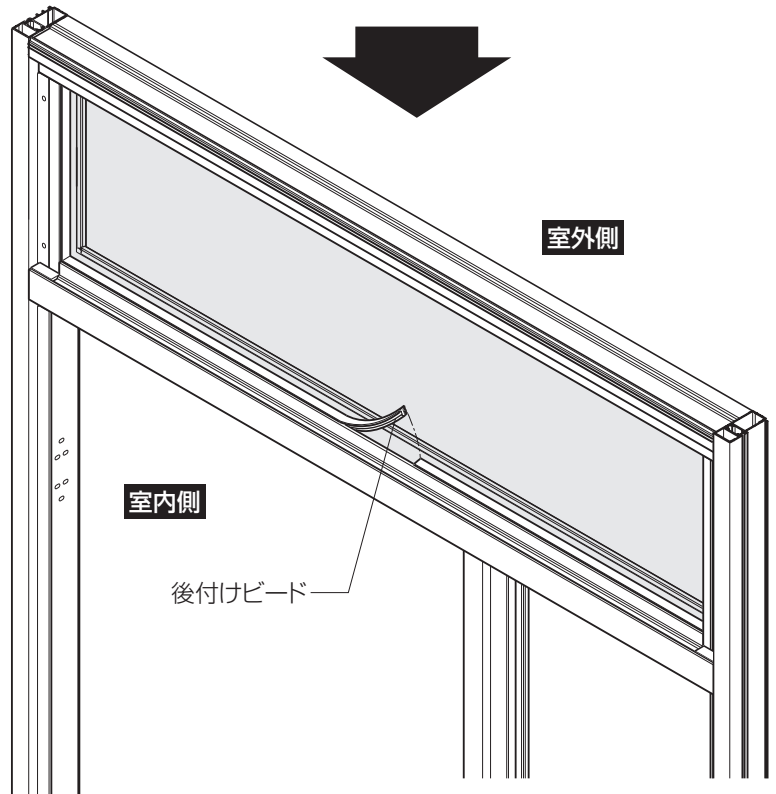
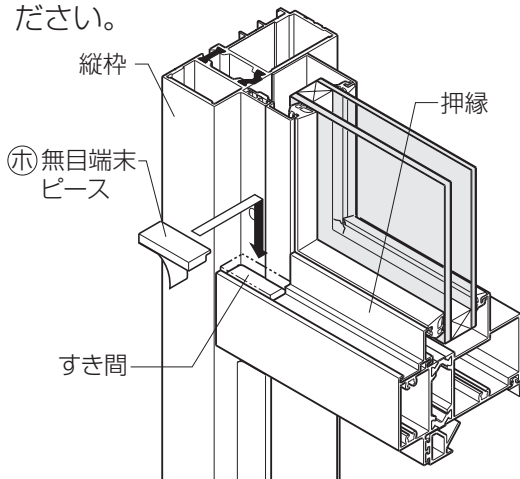
※このビードは、18・19mmガラス用です。  
納まりがきつい場合は、1枚はがしてくだ  
さい。

※高防犯仕様の場合、  
製品に同梱されてい  
る防犯合わせ複合ガ  
ラス用後付けビード  
を使用してください。



### 〈無目端末ピースの取付け〉

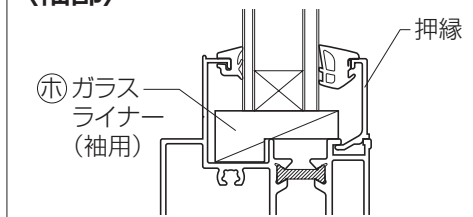
※押縁を取付けた後、縦枠とのすき間に無  
目端末ピースを張付けてください。張付  
け面は、ゴミ・水分などをふき取って  
ください。



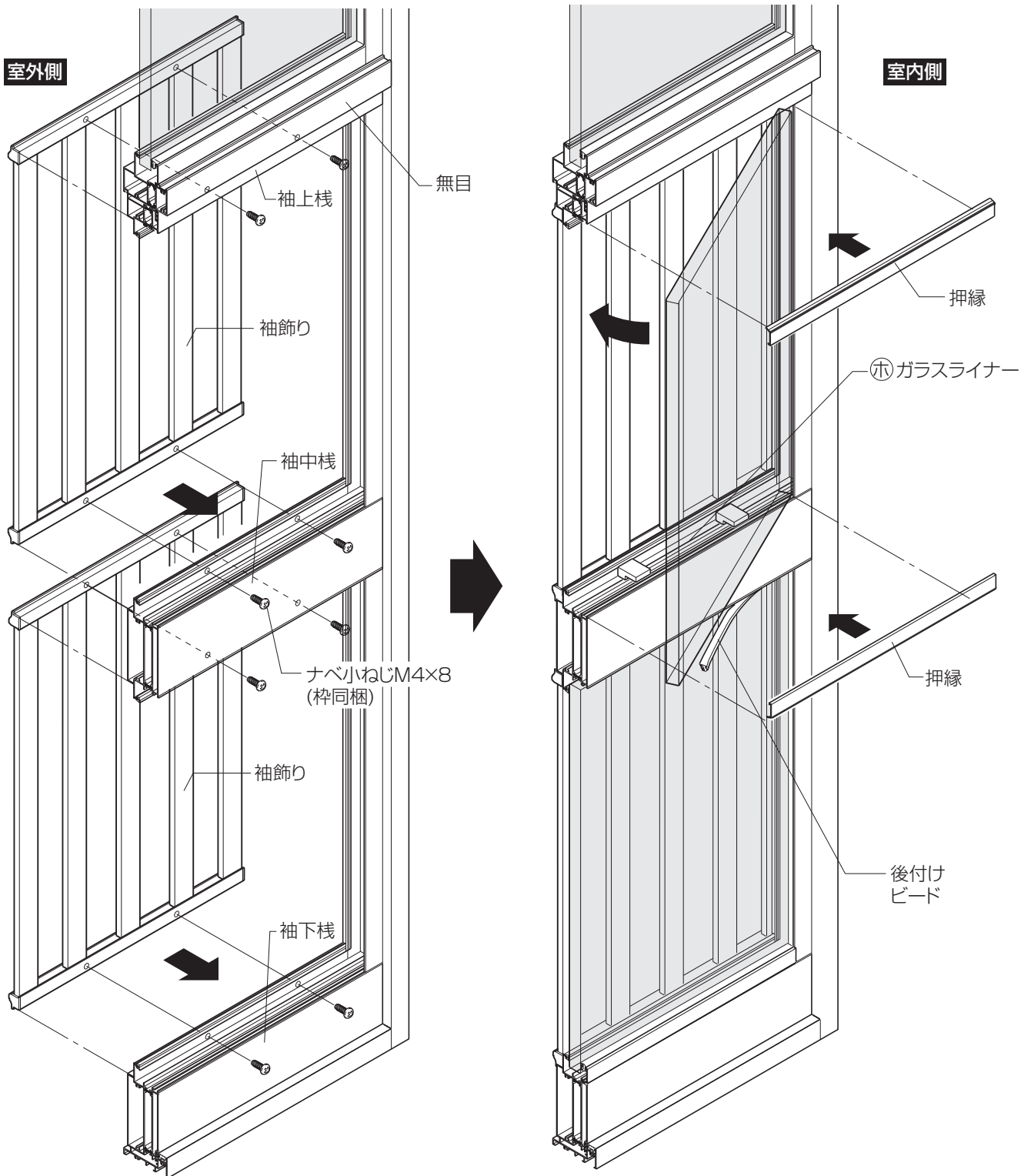
### 〔袖飾り〕

- 袖飾りを室外側から差込み、ねじ止めします。
  - ガラスライナーを置いてガラスを方立側からけんどんで入れます。
- ※ガラスライナーの向きを確認してください。

### ■ガラスライナーの向き 〈袖部〉



- 押縁を取付け、ランマ部と同様に後付けビード (同梱) で固定します。
- ※押縁の両端末にシーリング材を充てんしてください。



### 3 丁番の取付け・ドア本体のつり込み

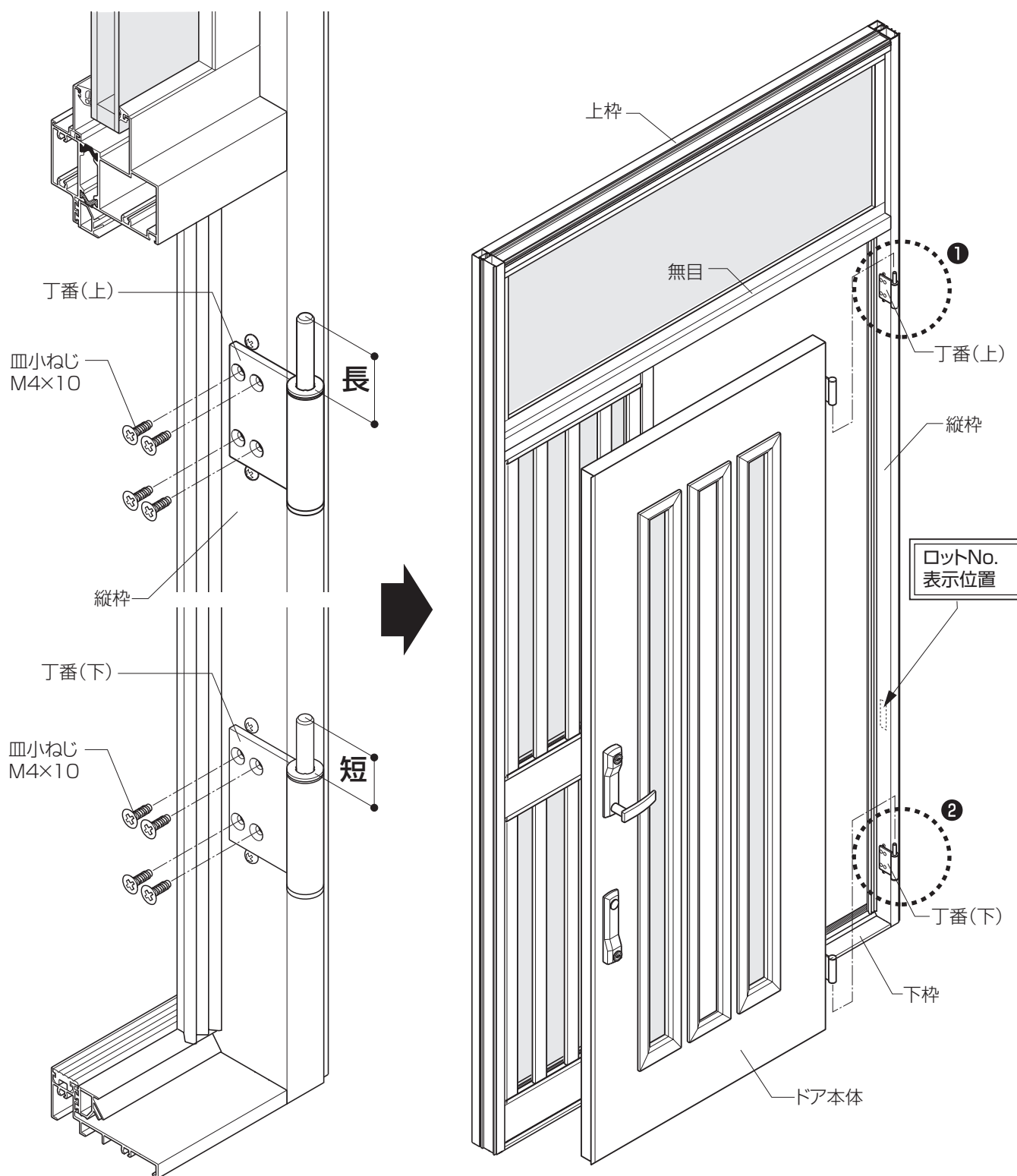
#### ▲ 注意

- 丁番取付けねじは、奥まで締め付けてください。ドア本体の脱落の原因になります。

① 丁番には上・下の区別があります。軸の長い丁番は上、軸の短い丁番は下になるように取付けます。(取付けねじは丁番セットに同梱されています。)

※ 本体側は、皿小ねじM4×18 (長い方のねじ) で取付けてください。

② ドア本体を①・②の順でつり込みます。



# 製品の取付け




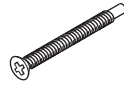


## ▲ 注意

- 本製品は、土間納まり専用です。外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。
- 躯体に取付ける際は、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。製品強度の不足でドア本体・枠の脱落の原因になります。
- 躯体に取付ける際の枠取付けねじのねじ込みトルクは、ねじかかり寸法20mmの時1.2N・m (12kgf・cm) 以上にしてください。製品強度の不足でドア本体、枠の脱落の原因になります。
- 錠セットを取付ける前につり込むとドアが勝手に開き危険です。ドア本体に錠セットを取付けてラッチをかけてから、枠を躯体に固定してください。
- 丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落します。

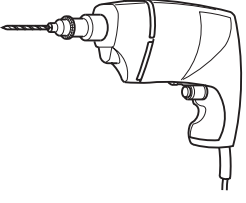

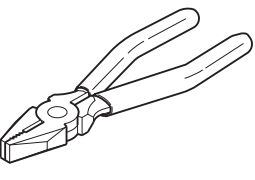
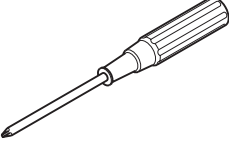
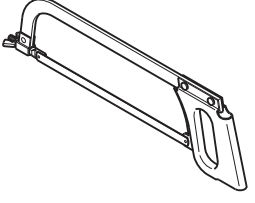
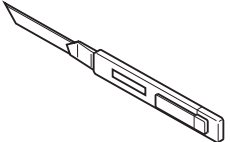
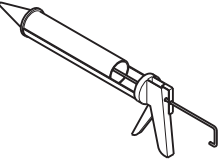
- 現場施工に入る前に、製品基本寸法が現場と合っていることを確認してください。
- 必ず指定の取付けねじで取付けてください。
- 内外の額縁は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

## ■取付けねじ一覧表

※取付けねじ本数は、取付け穴より多めに入っています。

①	②	③	④	⑤	⑥
上枠用	縦枠用(室内側)	縦枠用(室外側)	下枠取付け用	額縁・アタッチメント取付け用	穴ふさぎ用
					
皿タップピンねじ φ4×90(1種)	ナベタップピンねじ φ4×60(1種)	ナベタップピンねじ φ4×20(1種)	皿小ねじ M4×35(先付)	ナベテクスねじ φ4×13	プッシュボタン

## ■使用工具一覧表

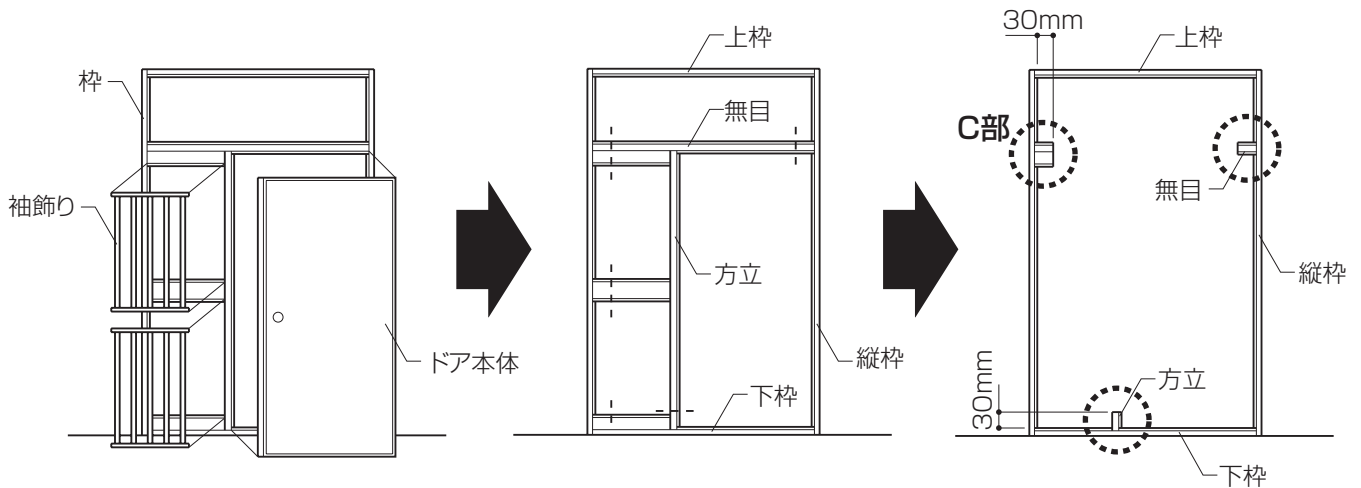
電動ドリル・電動ドライバー	くい切り	ペンチ	プラスドライバー	鉄ノコ
				
カッター	コーキングガン	※その他工具…グラインダー、丸のこなど。		
				

## ■既設ドアの取外し

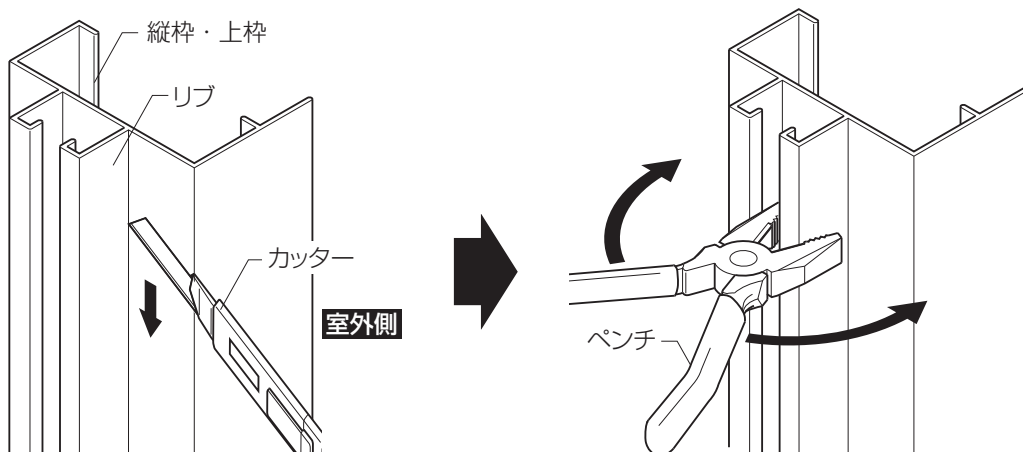
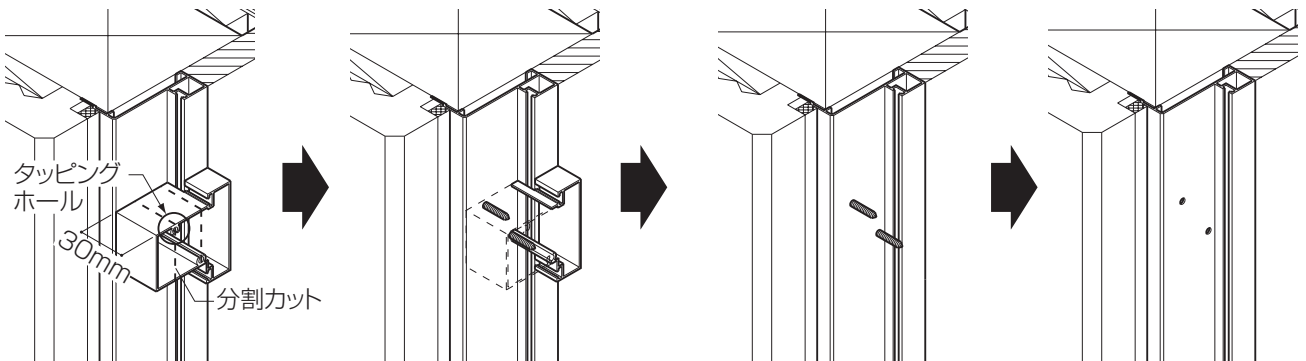
- ①既設のドア本体・袖飾り・子扉、及びガラスを取外します。
- ②無目・方立などの部材を切断して取除き、外枠（上枠・縦枠・下枠）のみ躯体に残します。

### 【既設枠がアルミ型材の場合】

- ①無目・方立などは、縦枠・下枠などとの連結部から約30mm残して切取ります。
- ②切り残した部材は、タッピングホール付近を分割して取りやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったねじを、くい切りなどで切断します。
- ④取付けに支障のあるリブが縦枠・上枠にある場合は（下図）、室外側のリブの付け根にカッターなどにて強く押当ててキズをつけ、ペンチで折取ります。



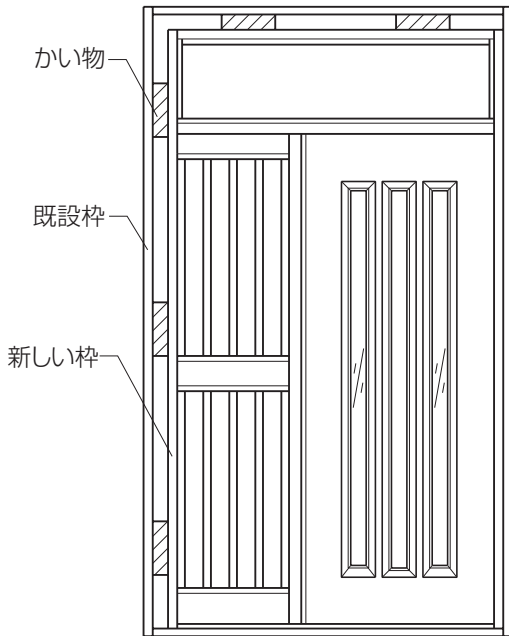
### ■C部詳細図



## ■新しい枠の取付け

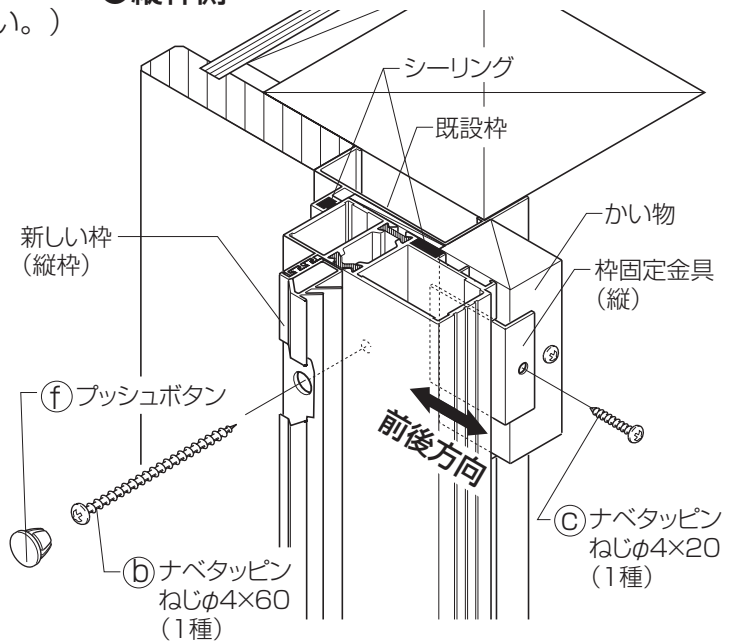
※ドアをつり込んだ状態で、必ず2人で作業してください。

- ①既設枠の水平・垂直を正しく出します。  
(調整が必要な場合は、かい物をご使用ください。)



つり元側

### ●縦枠側



### ▲注意

- 躯体に取付ける際は、製品の強度確保のため、ねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。ドア本体・枠の脱落の原因になります。

- ②取付け位置決定後、新しい枠（上枠・縦枠）の取付け穴より、既設枠及び躯体にφ3の下穴をあけます。

- ③いったん新しい枠を外して既設枠の四方にシーリング材を塗布し、新しい枠をつり元側から順に指定のねじで取付けます。

※縦枠の室内側は、ナベタッピンねじφ4×60（1種）を使用し、プッシュボタンをはめ込みます。

室外側は、枠固定金具（縦）付近にかい物を付け、ナベタッピンねじφ4×20（1種）で躯体に固定します。かい物は躯体に必ず固定してください。

※枠固定金具は、かい物の厚さに合わせて前後方向に調整してください。

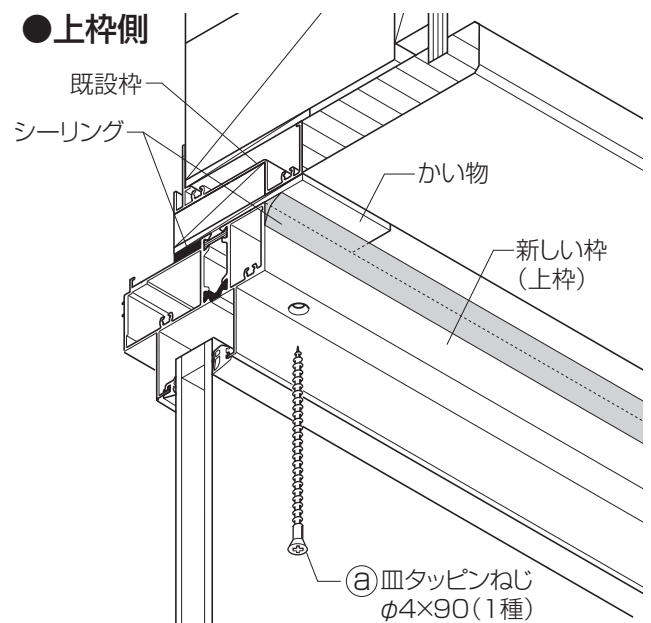
※上枠には、皿タッピンねじφ4×90を使用します。

※既設枠のねじなどに当たる場合は、位置をズラして別の穴をあけてください。

- ④既設枠と新しい枠の接合部（室外側／三方）にシーリング材を充てんします。

既設枠の枠固定金具（縦）取付穴にねじを固定後、ねじ周りにシーリング材を充てんします。

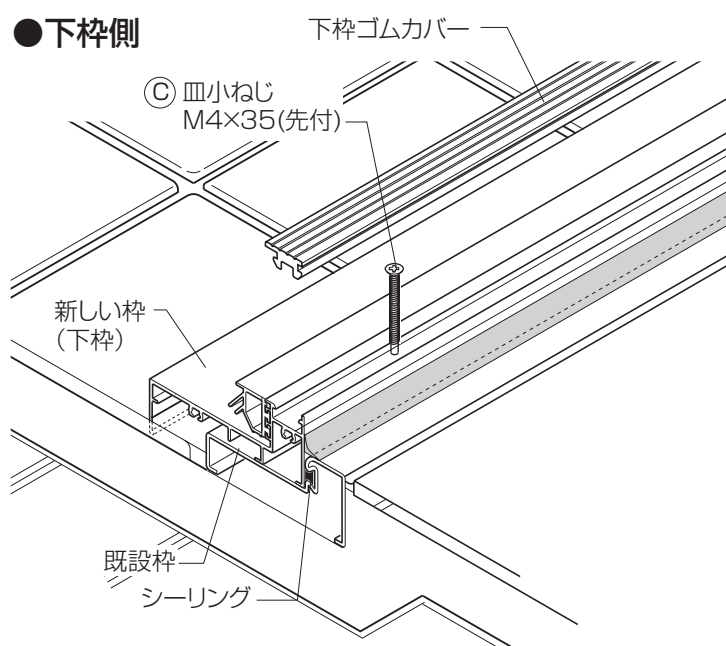
### ●上枠側



### ▲注意

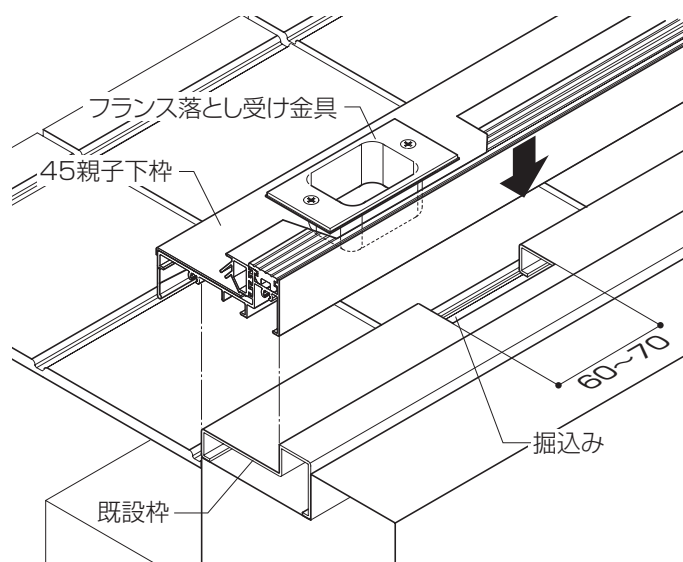
- 外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

- ⑤本体・子扉部分の下枠ゴムカバーを取外し、下枠の取付け  
穴から既設下枠にφ3.5の下穴をあけて、皿小ねじM  
4×35で既設枠に固定します。



#### 【親子の場合】

- フランス落とし受け金具の突起部が既設枠に当たる場合は、  
あらかじめ既設枠に掘込みを入れておきます。



⑥下枠のたわみ防止のため、下枠と既設枠とのすき間にかい物を入れます。

お願い

※親子納まりの場合は、下枠のフランスポット受け金具部分の強度確保のため、受け金具の両脇にかい物を入れてください。

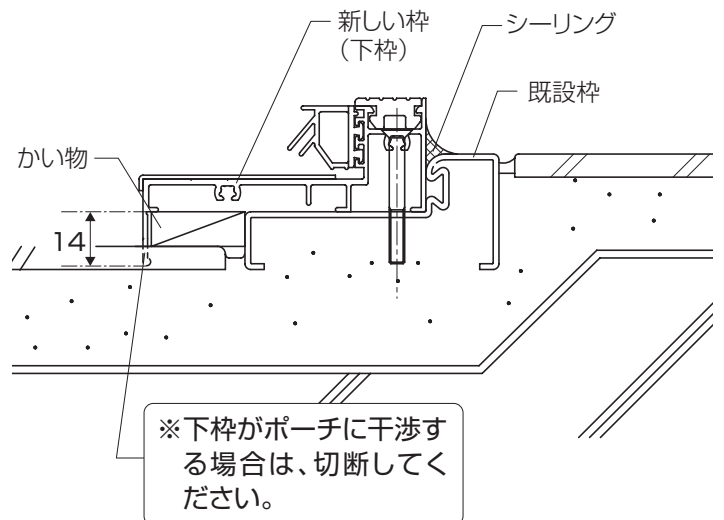
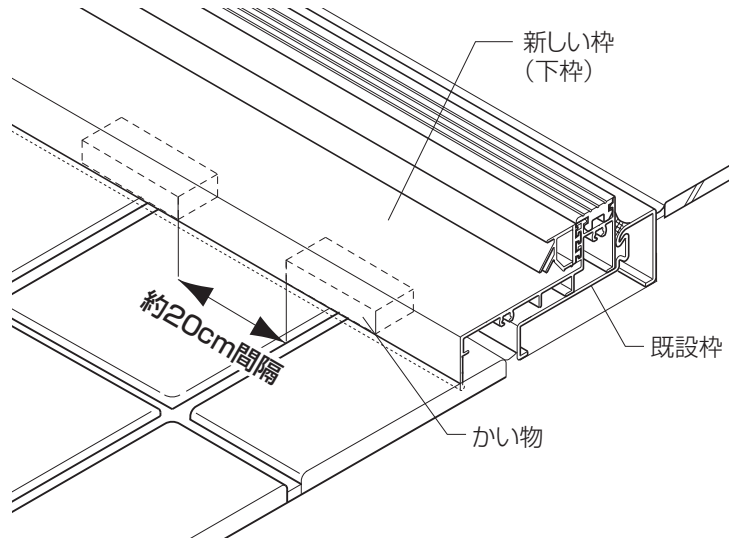
⑦既設枠と新しい下枠の接合面（室内側）にシーリング材を充てんします。

▲注意

●外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

※ポーチと下枠の段差が大きい場合は、下枠補強アングル（別売り）を枠組立て時に取付けてください。（P39参照）

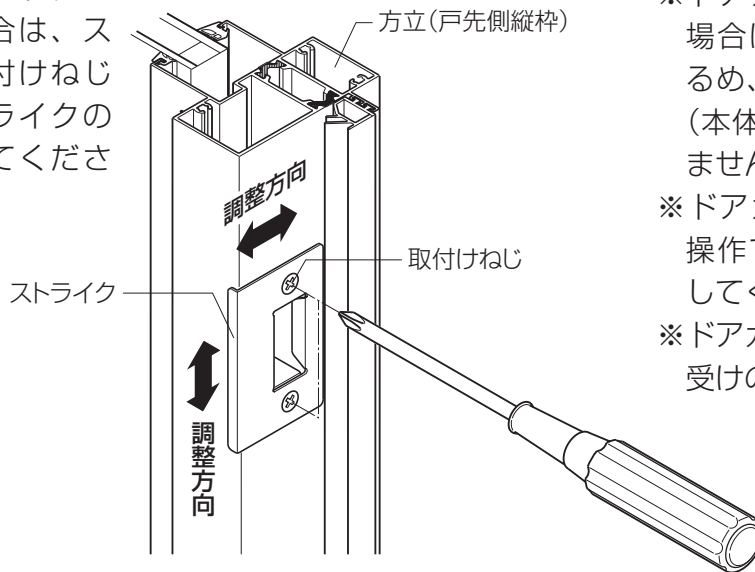
※ポーチと下枠の段差が小さい場合（14mm以下）は、下枠がポーチと干渉するおそれがありますので、確認のうえ干渉する場合は、切断してください。



## ■建付け調整

### ■ストライクの調整

●ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじを緩め、ストライクの位置を調整してください。

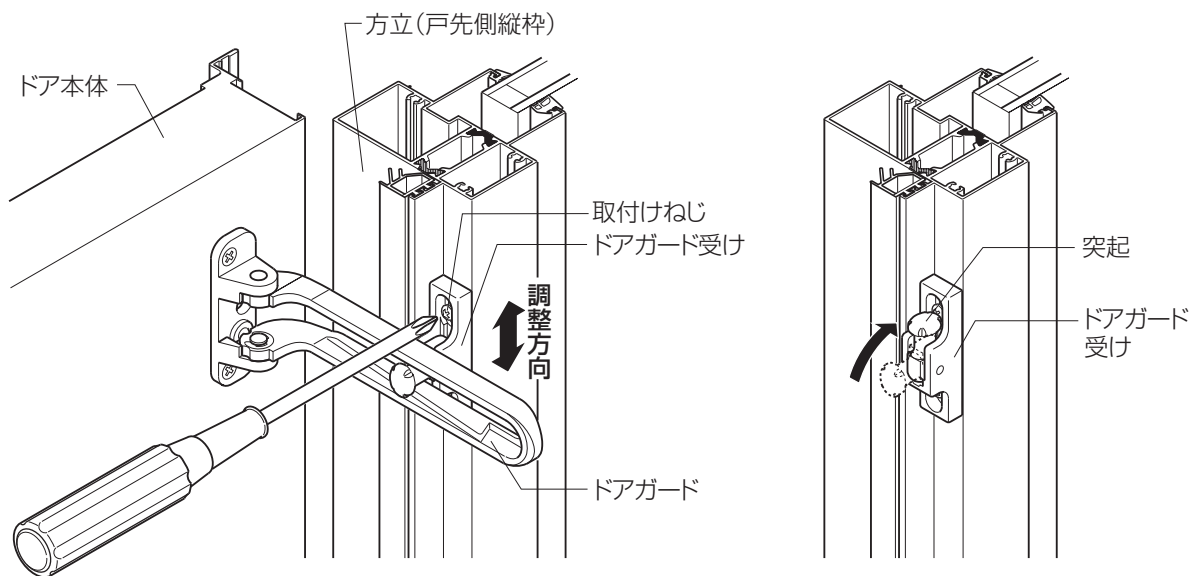


### ■ドアガードの調整

※ドアガードが受けにかからない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)

※ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから固定してください。

※ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。



### ■フランス落とし受けの調整

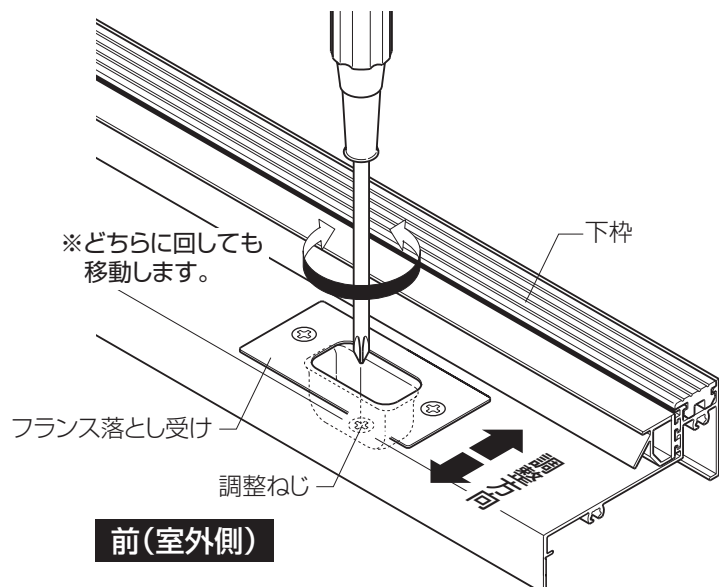
※子扉のロット棒がフランス落とし受けにかからない場合は、受けの調整ねじを緩め、位置を調整してください。

①子扉を開けます。

②ツボ内部の調整ねじを回すと、室外側に4mmまで受けが動きます。

※上枠・下枠共に調整できます。

※下枠の受けの中に砂などがたまった場合は、清掃してください。



## ■ドア本体の調整

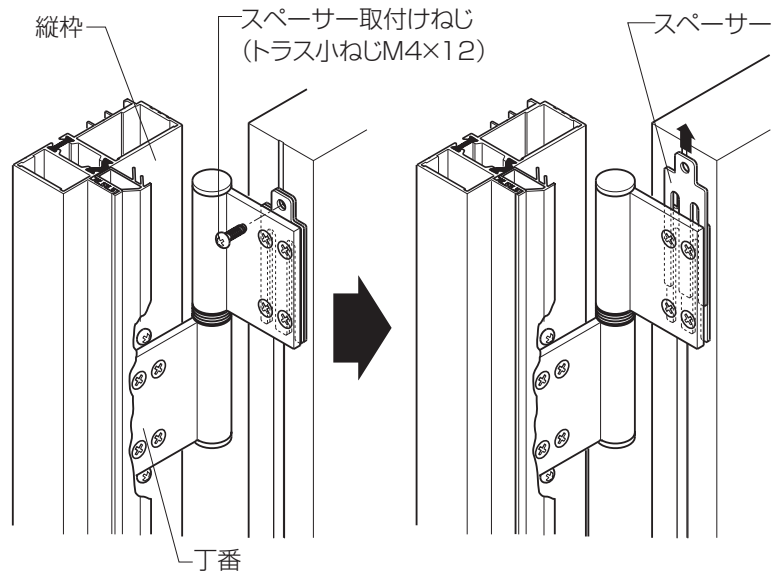
※ドア本体をつり込んだ後、枠とドア本体のすき間が納まり図通りであるか確認してください。  
納まり図通りでない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。

### 〔左右方向のすき間の調整〕

※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ（4本）を緩めます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締め付けます。

※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mmドア本体がつり元側へ寄ります。  
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

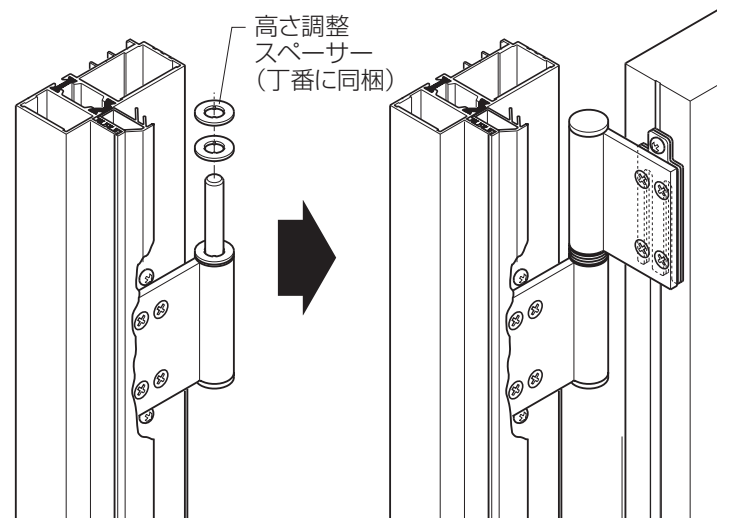


### ▲ 注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。本体が脱落します。

### 〔上下方向のすき間の調整〕

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番に同梱）を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mmドアが上に上がります。



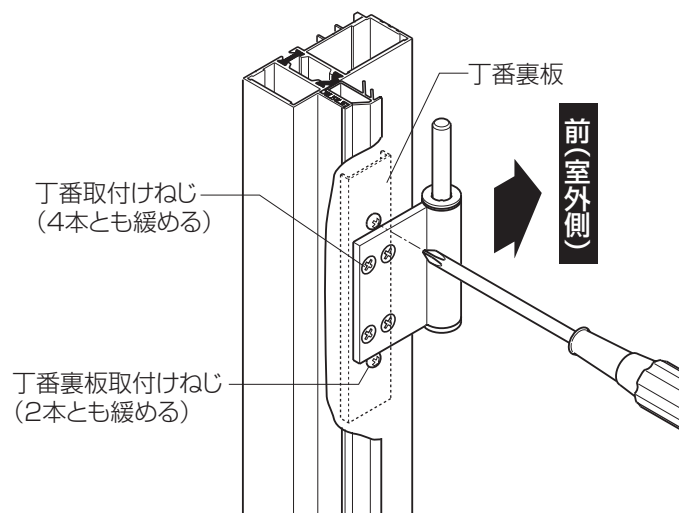
### 〔前後(室内・室外側)方向の調整〕

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）を緩めます。

#### お願い

※取付けねじを全部外さないでください。  
丁番裏板が脱落します。

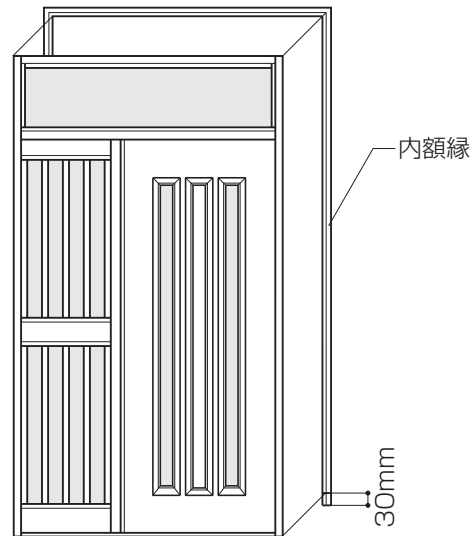
- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にズラすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①で緩めた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締め付けます。



## ■内額縁の取付け

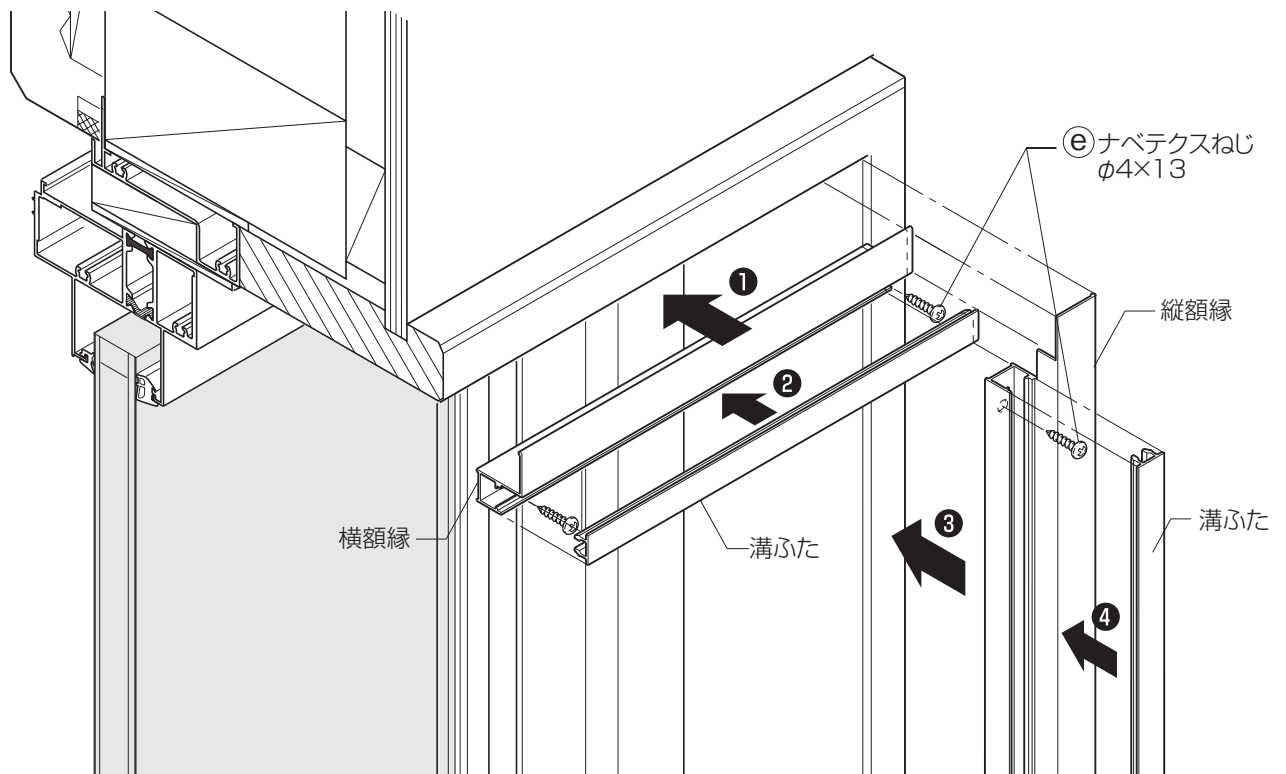
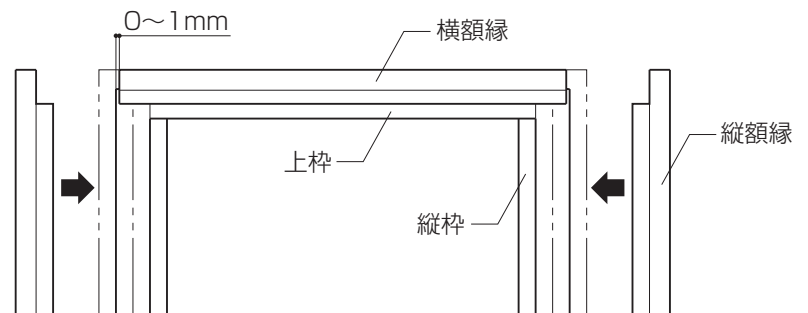
### 1 内額縁の切詰め

- 現場の納まりに合わせて、内額縁を切詰めます。
- ※縦額縁は右図のように、長めに設定されています。



### 2 内額縁の取付け

- ※横額縁溝ふたは、短い方が内用です。
- ※ナベテクスねじφ4×13で取付けます。
- ①既設枠が隠れるようにし、右図の位置に横額縁を取付けます。
- ②横額縁に溝ふたを取付けます。
- ③既設枠が隠れるようにし、切欠き部に横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ④縦額縁に溝ふたを取付けます。
- ※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

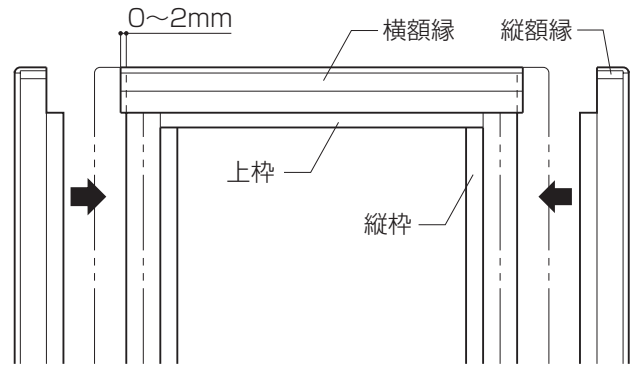


## ■化粧額縁の取付け(1)


※化粧額縁は、3種類あります。現場の納まりに合わせて部材を選択し、取付けてください。  
 使用条件については、「取付けチェックポイント集」(巻末)を参照してください。  
 化粧額縁は、ドアのつり込み・建付け調整後、取付けてください。

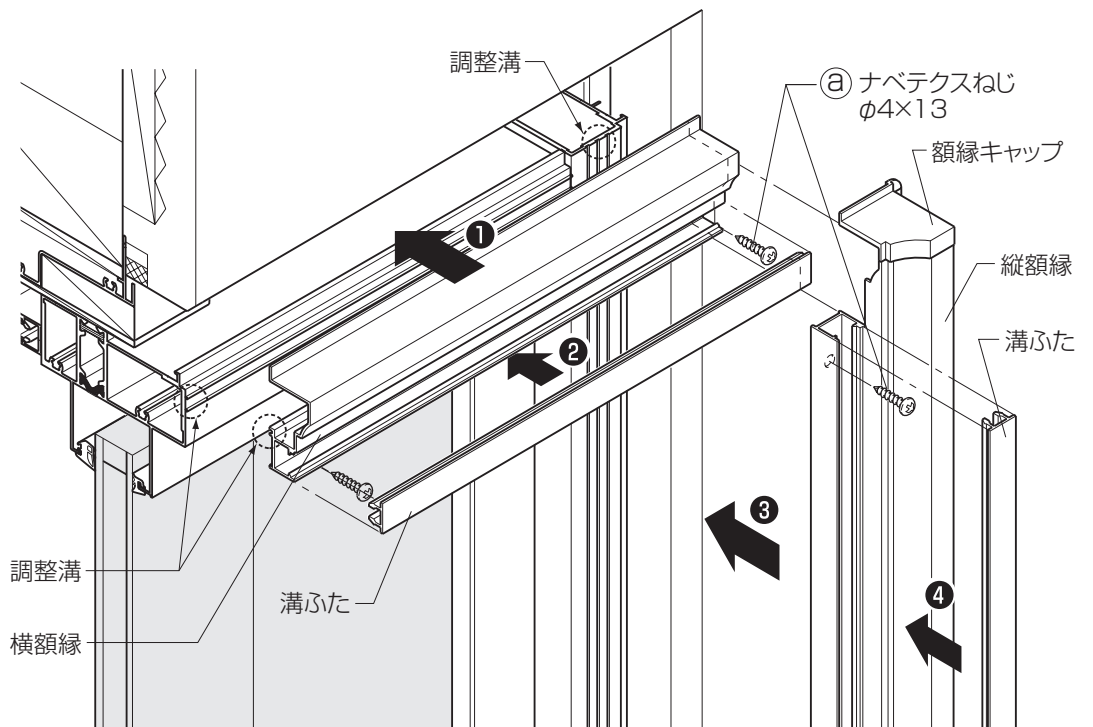
### 【化粧額縁Aの場合】

- ①現場の納まりに合わせて額縁を切詰めます。  
 ※ナベテクスねじφ4×13で取付けます。
- ②納まりに合う調整溝を選び、下図の位置に横額縁を取付けます。  
 ※取付け位置が違くと、縦額縁が取付けられません。
- ③横額縁に溝ふたを取付けます。
- ④納まりに合う調整溝を選び、切欠き部を横額縁にはめて縦額縁を取付けます。
- ⑤縦額縁に溝ふたを取付けます。  
 ※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

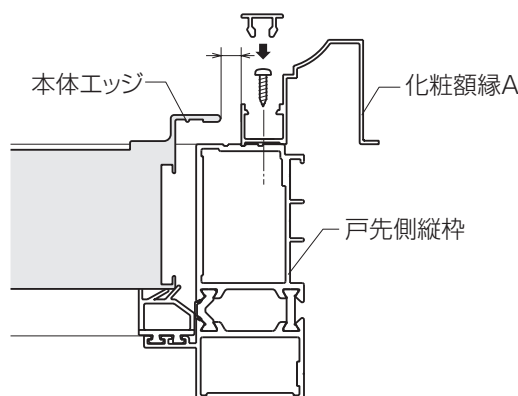


### ■使用ねじ一覧

①
額縁取付け用

ナベテクスねじ φ4×13



※片開きの場合、戸先側縦枠に取付ける額縁は、本体エッジが当たらない位置に取付けてください。

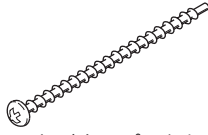



## ■化粧額縁の取付け(2)

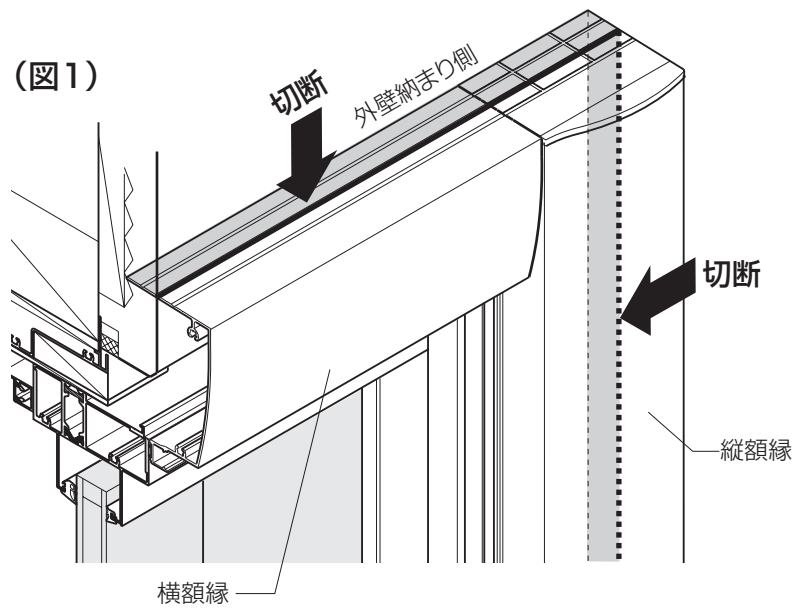
### 〔化粧額縁Bの場合〕

- ①化粧額縁の外壁面を現場の納まりに合わせて切断します。(図1)
- ②納まりに合う縦枠の調整溝を選び縦額縁を縦枠に仮止めし、横額縁の切詰め寸法を算出して切詰めます。(図2)  
縦額縁については、現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ※取付け位置が違うと、横額縁が取付けられません。
- ③縦・横額縁を①ナベタッピンねじφ4×90で組立てます。(図3)
- ④納まりに合う調整溝に化粧額縁を差込み、⑥ナベテクスねじφ4×13で枠に取付けます。(図4)
- ⑤溝ふたを取付けます。(図4)
- ※溝ふたは完全にはめ込んだことを確認してください。

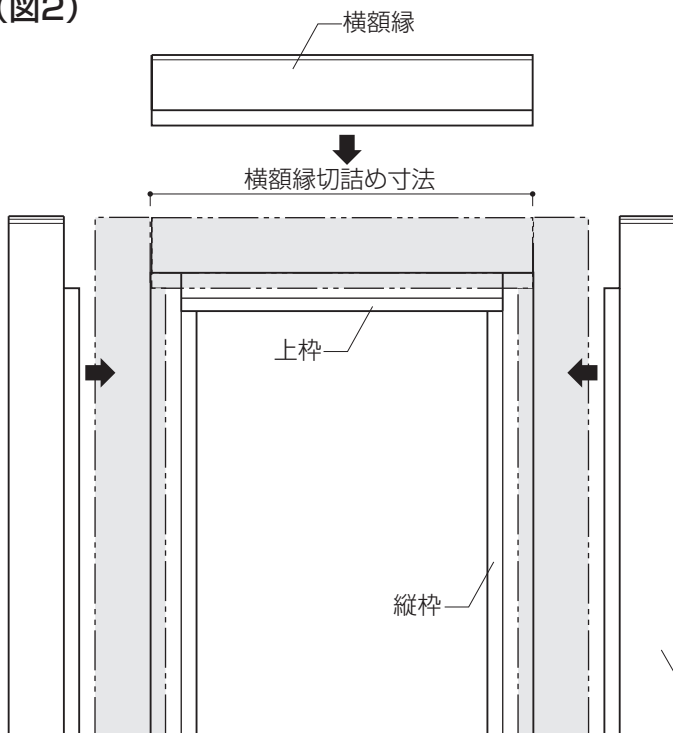
### ■使用ねじ一覧

①	⑥
額縁組立て用	額縁取付け用
	
ナベタッピンねじ φ4×90	ナベテクスねじ φ4×13

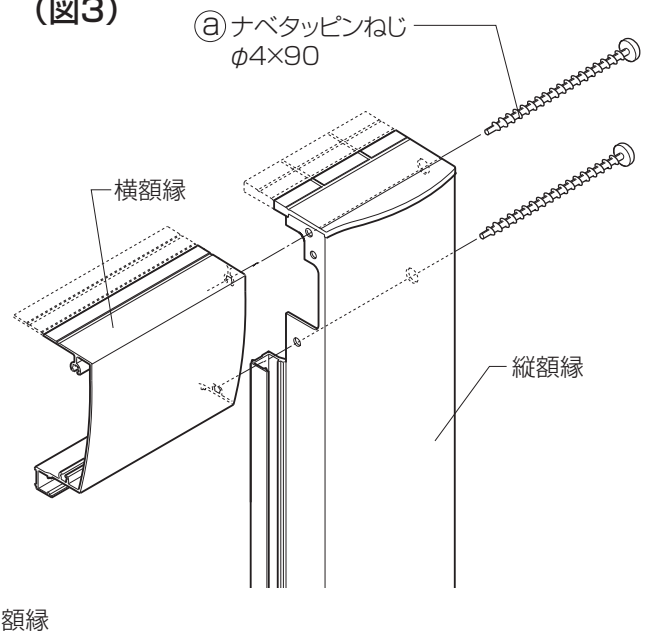
(図1)



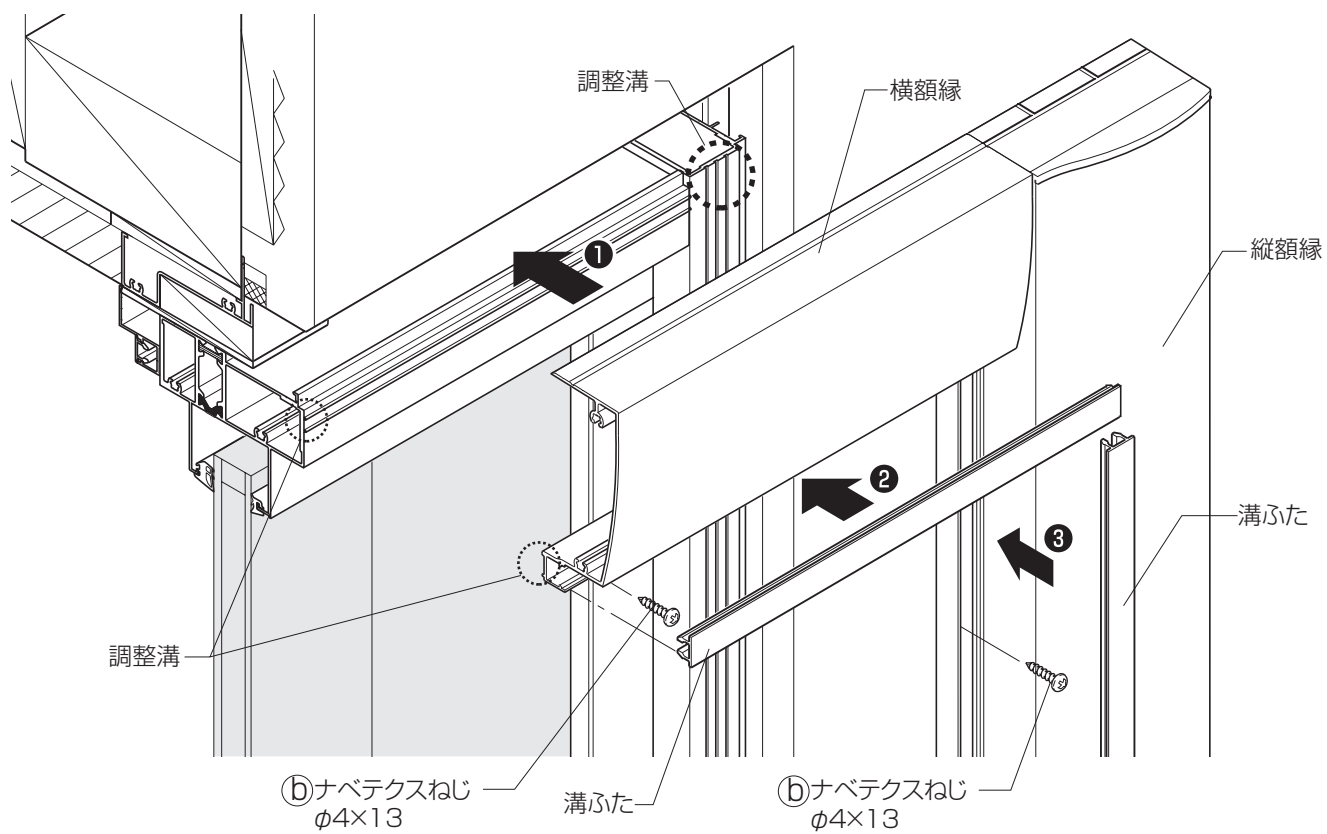
(図2)



(図3)



(図4)



## 化粧額縁の取付け(3)

〔化粧額縁Dの場合〕

### 1 切詰め加工

●後付化粧額縁D(横)、溝ふた(横)及び壁厚調整材(横)の切断寸法は、下表の切断寸法計算式より算出して切詰めてください。

### ■切詰寸法計算式

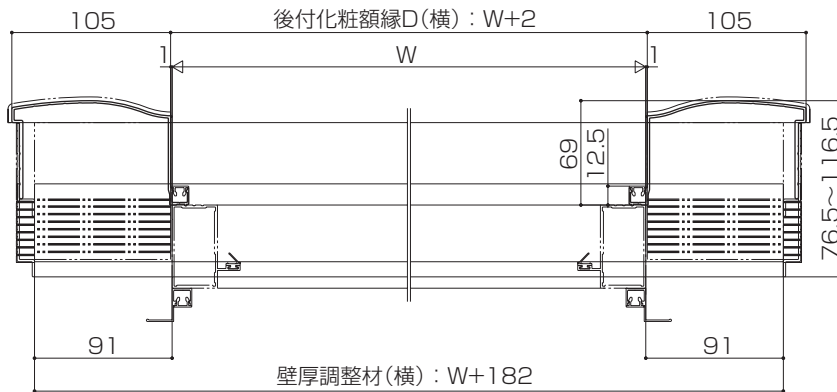
部材名	切断寸法計算式
後付化粧額縁D(横)	$W+2$
溝ふた(横)	$W+1$
壁厚調整材(横)	$W+182$

※後付化粧額縁D(縦)、溝ふた(縦)及び壁厚調整材(縦)

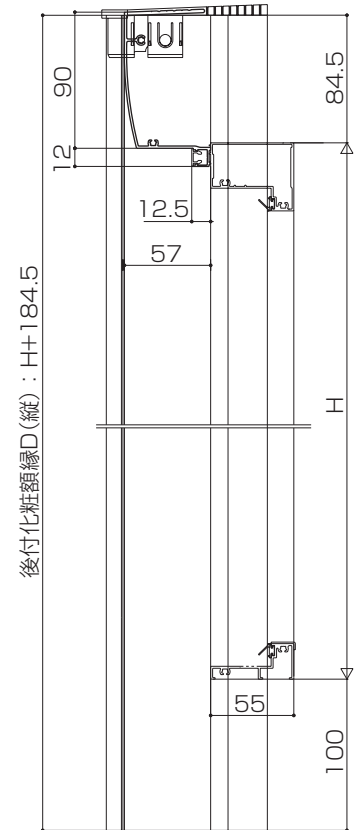
は、現場の納まりに合わせて切詰めてください。

※出荷時は、ドア下枠下端より100mm出ています。

### ●横断面図



### ●縦断面図

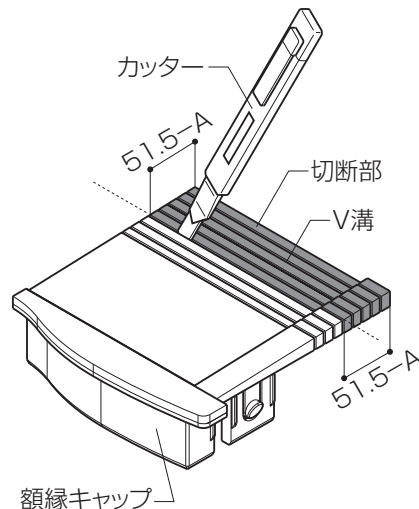
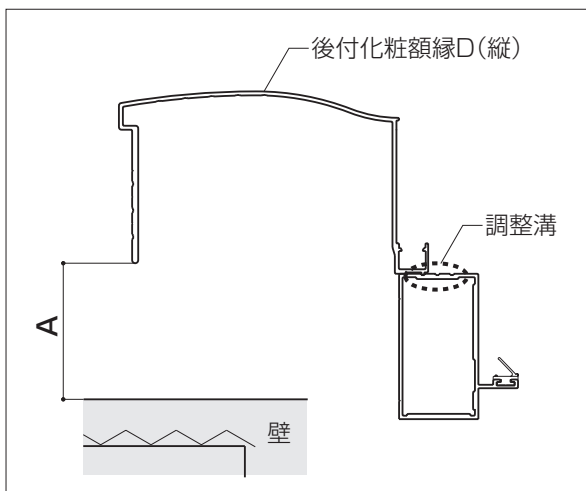


### 2 額縁キャップの切断

●後付化粧額縁D(縦)を縦枠の溝に合わせ、後付化粧額縁D(縦)と壁のすき間寸法Aを測り、額縁キャップ切断寸法計算式より算出して、カッターで数回切れ目を入れ、カットしてください。

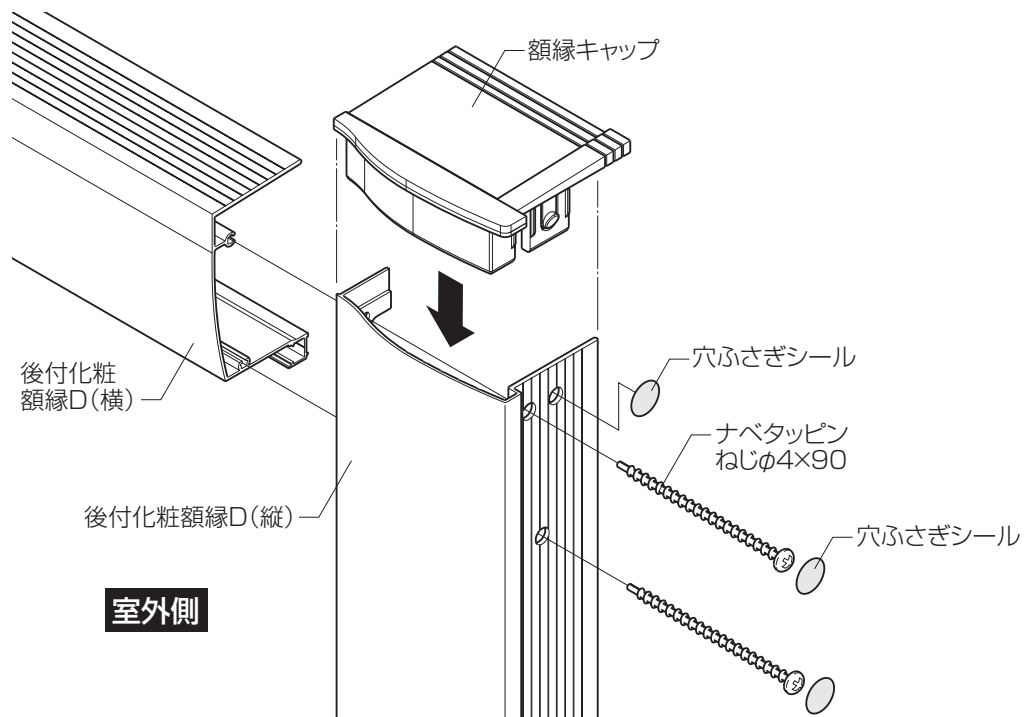
※額縁キャップには、カッターで切りやすいように5mm間隔でV溝が入っています。

額縁キャップ切断寸法計算式 =  $51.5 - A$



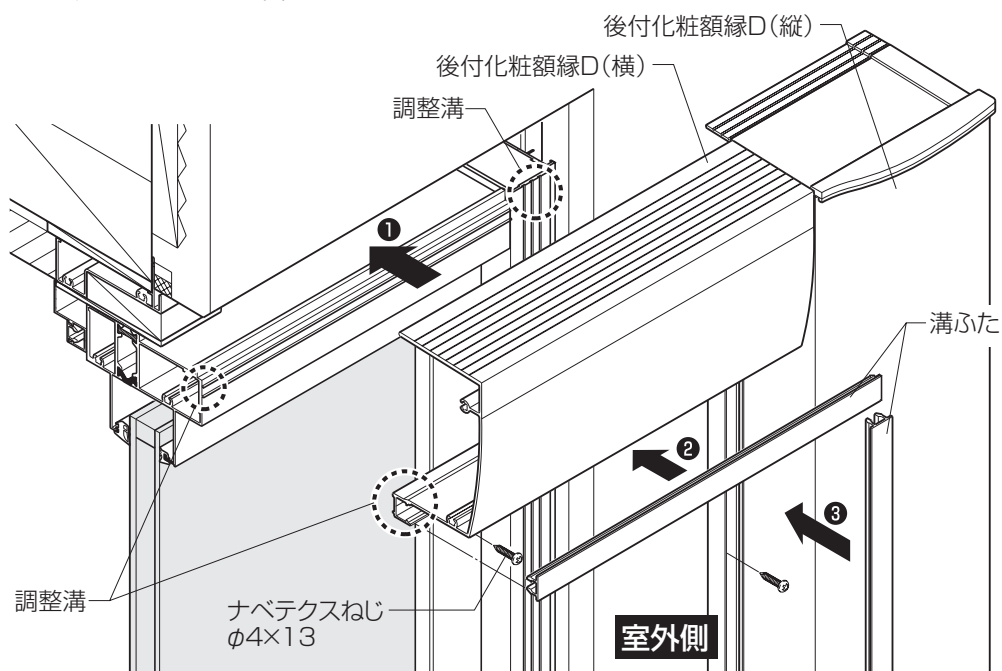
### 3 後付化粧額縁Dの組立て

- ①後付化粧額縁D（縦）、（横）、額縁キャップとともに、ナベタッピンねじ $\phi 4 \times 90$ で組立てます。
- ②組立て後、取付ガイド穴に穴ふさぎシールを張付けてください。



### 4 後付化粧額縁Dの取付け

- ①組立てた後付化粧額縁Dを、枠の調整溝に差込み、ナベテクスねじ $\phi 4 \times 13$ で枠に取付けます。
  - ②溝ふたを後付化粧額縁D（縦）、（横）に取付けます。
- ※溝ふたは、完全にはめ込んだことを確認してください。



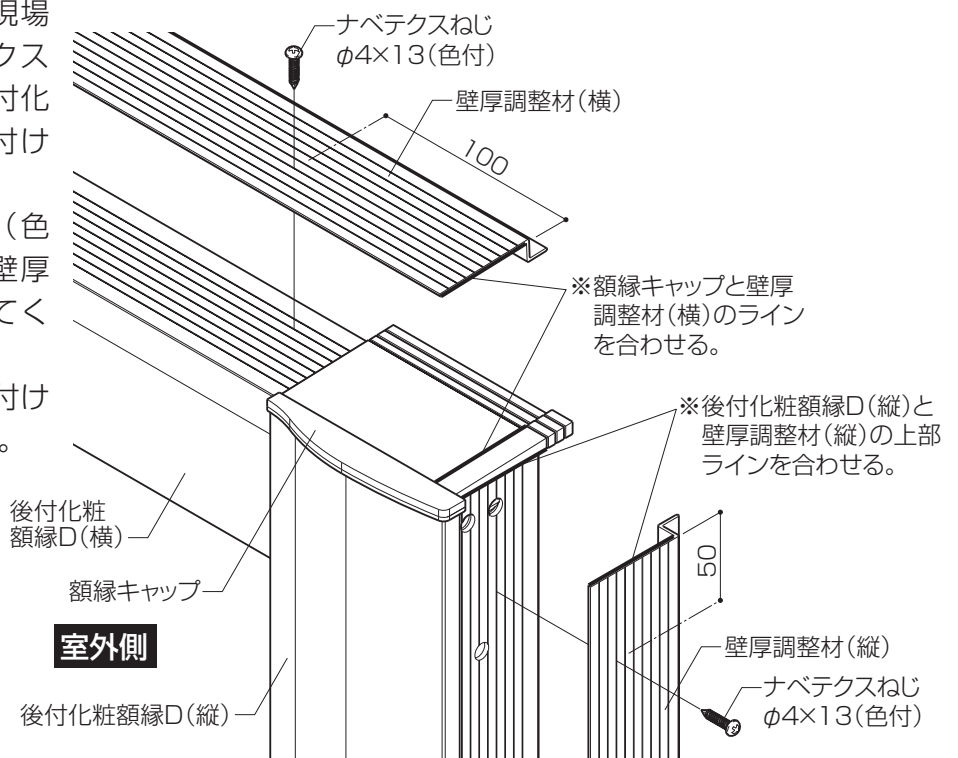
## 5 壁厚調整材の取付け

① 壁厚調整材（縦）、（横）を現場納まりに合わせて、ナベテクスねじφ4×13（色付）で後付化粧額縁D（縦）、（横）に取付けます。

※ ナベテクスねじφ4×13（色付）は、後付化粧額縁Dと壁厚調整材をいっしょに取付けてください。

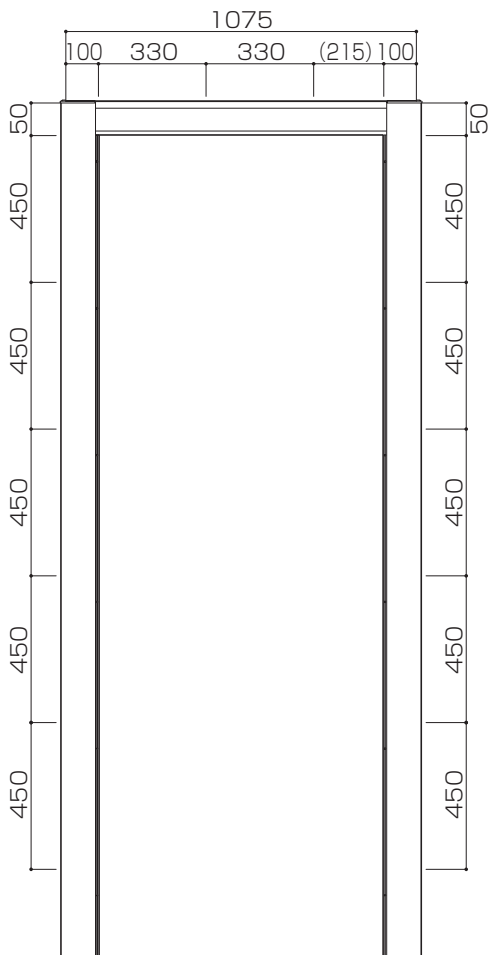
※ ねじの取付け位置は、「■取付け寸法表」を参照してください。

※ 壁や軒があるために、壁厚調整材が取付けずらい場合は、後付化粧額縁Dを枠に取付ける前に、壁厚調整材を後付化粧額縁Dに取付けてから、手順4の作業をしてください。

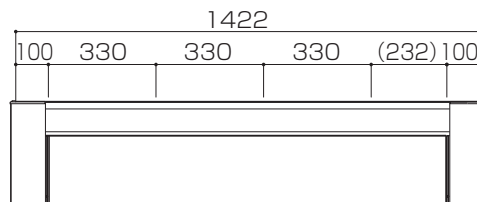


### ■取付け寸法表(参考)

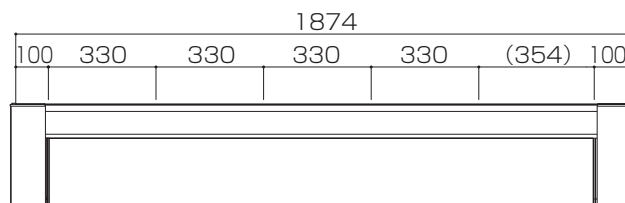
#### 【片開きK用】



#### 【片袖飾り用】



#### 【両袖飾り用】



※ 取付けねじ本数は、両袖飾り用の取付本数となっています。

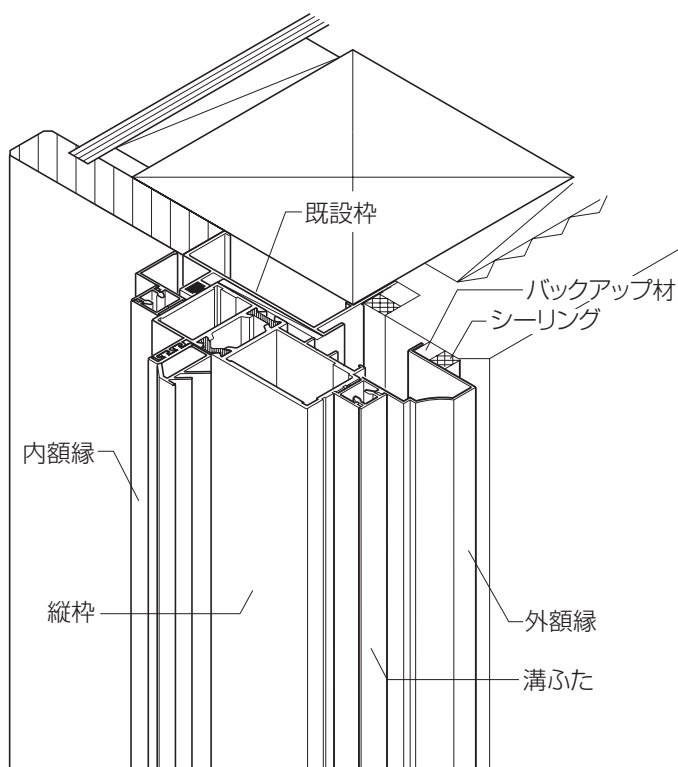
## ■外周部のシーリング処理

### ▲注意

●外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

●雨仕舞いのため、外周部にシーリング材を充てんします。

※下枠部・化粧額縁下部については、全面シーリングをせずに、両端部から水が抜けるようすき間を確保してください。



## ■下柵補強アングル(別途有償品)の取付け

### お願い

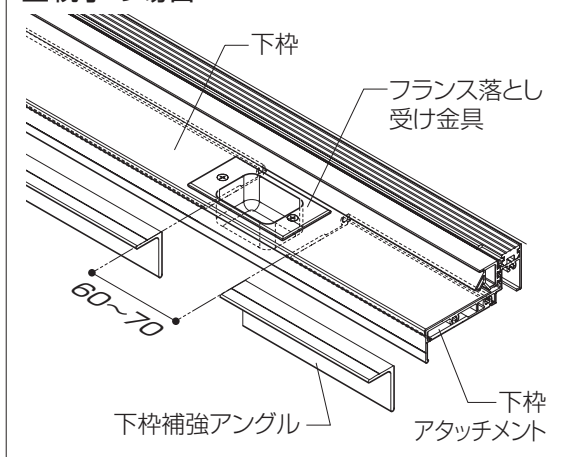
- ※この部材は下柵とポーチ面の立上がり大きい納まりに使用してください。
- ※下柵補強アングルは、必ず柵組立てと同時に取付けてください。
- ※袖付きの柵に下柵補強アングルを取付ける場合、順序を間違えると方立が固定できなくなります。下記の取付け手順に従ってください。

- ①下柵アタッチメントを下柵と同じ長さ  
に切詰め、下柵に差込みます。  
※袖付き柵の場合は、方立を下柵に固定し  
てから取付けてください。  
※親子の場合、フランス落とし受け金具の  
突起部が下柵アングルと下柵アタッチメ  
ントに当たりますので、あらかじめ下柵  
アングルとアタッチメントを切断してく  
ださい。

### お願い


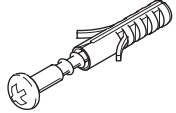
- ※親子納まりで下柵とポーチ面の立上がり  
が大きい場合は、下柵のフランス落  
とし受け金具部分の強度確保のため、  
必ず下柵補強アングルを取付けてくだ  
さい。

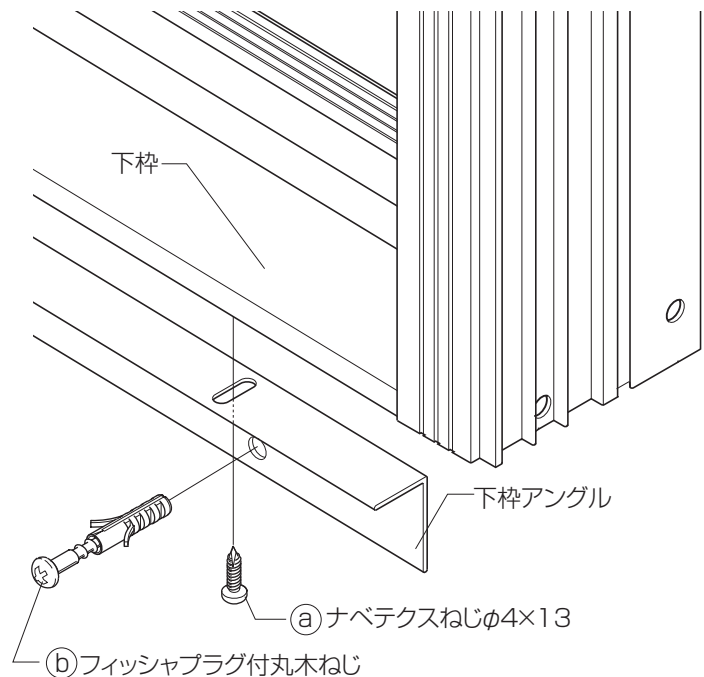
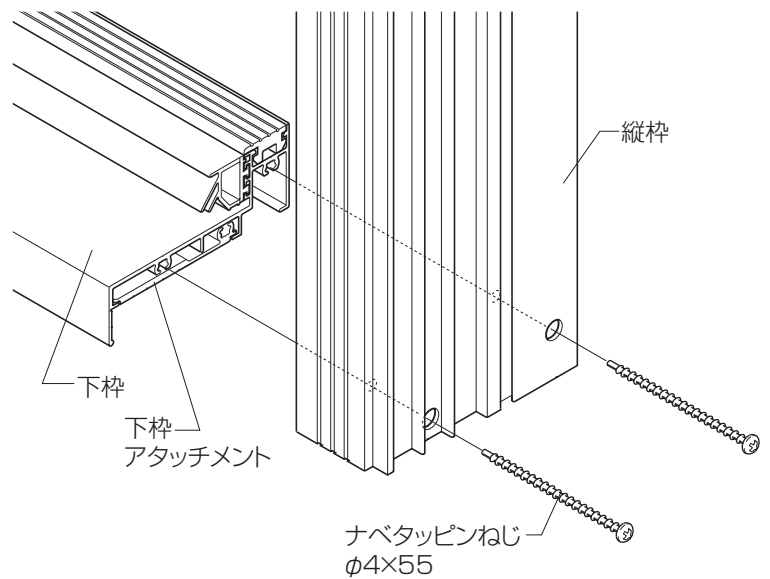
### ■親子の場合



- ②下柵と縦柵を固定し、柵を組立てます。  
③下柵アングルを下柵アタッチメントに合  
わせ、下柵アタッチメントにφ3.5の下  
穴をあけます。  
④a)ナベテクスねじφ4×13で下柵アング  
ルを下柵アタッチメントに固定します。

### ■使用ねじ一覧

①	②
下柵アタッチメント固定用	躯体固定用
	
ナベテクスねじφ4×13	フィッシュプラグ付丸木ねじ



※下枠アングルは、既存の下枠（躯体）に固定する前に取付けてください。

※下枠アングルが外壁に密着する位置のV溝を選んで、下枠アングルを下枠アタッチメントに取付けてください。

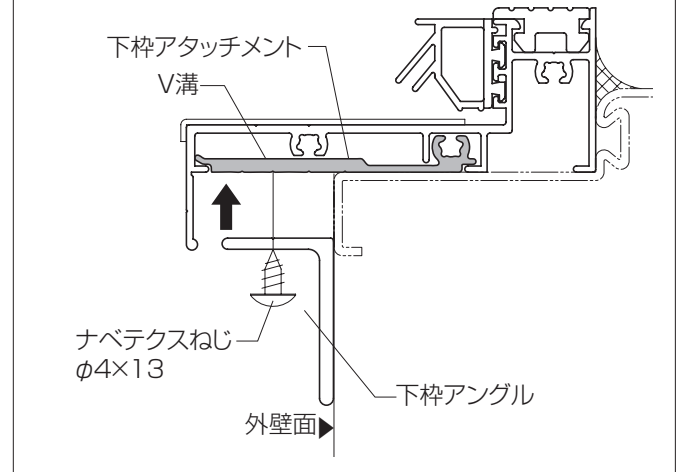
⑤下図の手順に従って躯体外壁面にドリルで穴をあけ、⑥フィッシャプラグ付丸木ねじφ5.1×45で固定します。

※躯体外壁面端部から穴あけの位置が近すぎると、躯体が割れるおそれがありますので、指定の位置に穴をあけてください。

**お願い**

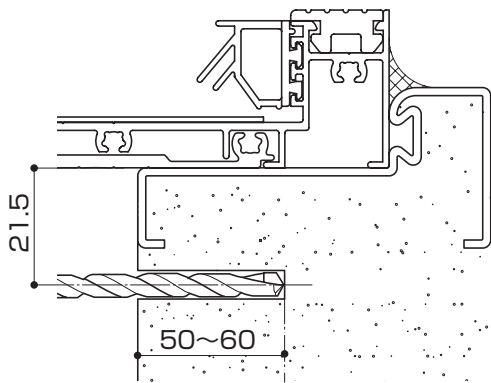
※フィッシャプラグ付丸木ねじの躯体外壁面への穴あけは、下枠強度確保のため指定の穴径、深さにて加工してください。

**■下枠アングルの取付け**

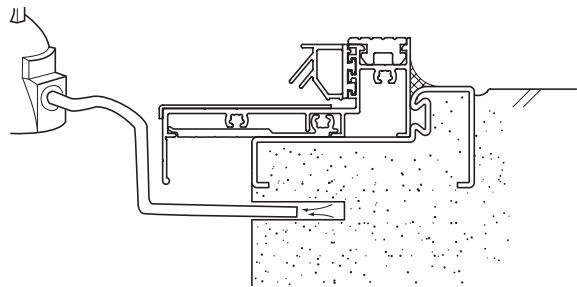


**■フィッシャプラグ付丸木ねじの取付け**

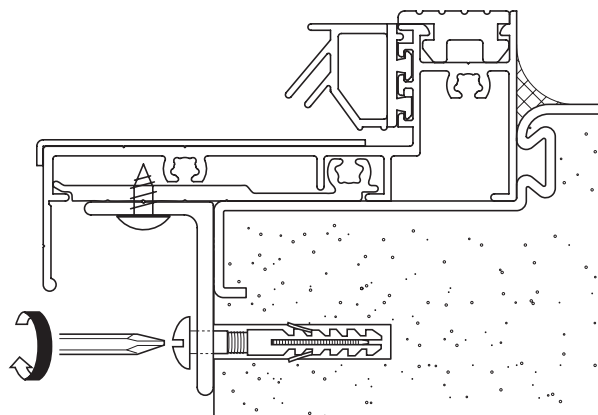
①ドリルでφ6の穴をあけます。



②吸じん機、又はダストポンプを用いて穴内の切粉を除去します。



③ハンマーで軽くたたきながらプラグを挿入し、アングルをセット後、木ねじをしめつけ固定します。

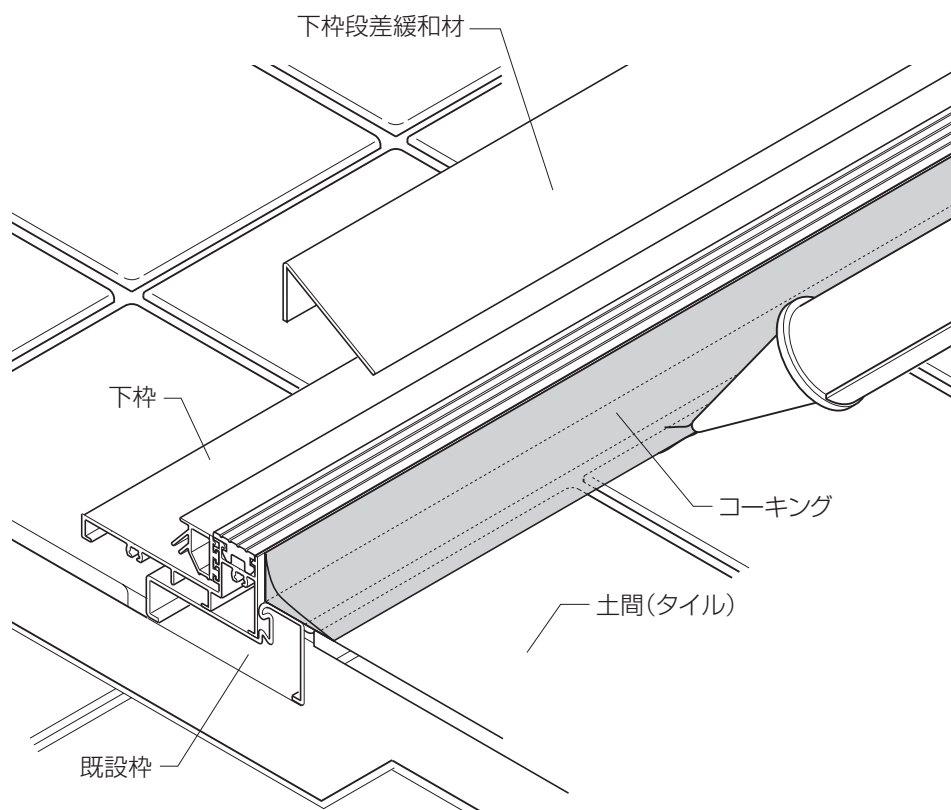


## ■下枠段差緩和材(別途有償品)の取付け

### お願い

※この部材は、新枠を取付けた際、室内側の土間の段差が大きい場合に使用してください。

- ①下枠段差緩和材を現場の納まりに合わせて切詰めます。
- ②既設枠と下枠の段差部分にコーキングをします。  
※コーキングは、下枠段差緩和材の傾斜に合わせて塗布してください。
- ③下枠段差緩和材をコーキングの上に固定します。



# 改装用ドア リネスタ／リペラル 取付けチェックポイント集

- 1.現場チェック項目一覧
- 2.現場調査前確認事項
- 3.現場調査時確認事項
- 4.取付け現場採寸時の確認事項

## 1.現場チェック項目一覧

### ■現場チェック項目一覧

※製品を正しく取付けいただくために、下記項目を必ず確認してください。

	チェック項目	チェック
事前に電話などで確認する項目	取付ける建物の構造は木造土間納まりですか？	はい・いいえ
現場にて確認する項目	取付ける柱への枠の取付けねじのかけり寸法は20mm以上ですか？	はい・いいえ
	取付ける柱が腐っていませんか？	はい・いいえ
	既設枠開口周り(外壁など)に漏水のあとはありませんか？	はい・いいえ
	取付ける柱への枠の取付けねじのねじ込みトルクは、1.2N・m(12kgf・cm)以上ですか？	はい・いいえ
	既設枠の開口寸法は、指定個所を測定した際製品の切詰め(対応)寸法範囲内ですか？	はい・いいえ
	周辺環境(軒天、入隅納まり)において、製品取付けに支障はありませんか？	はい・いいえ

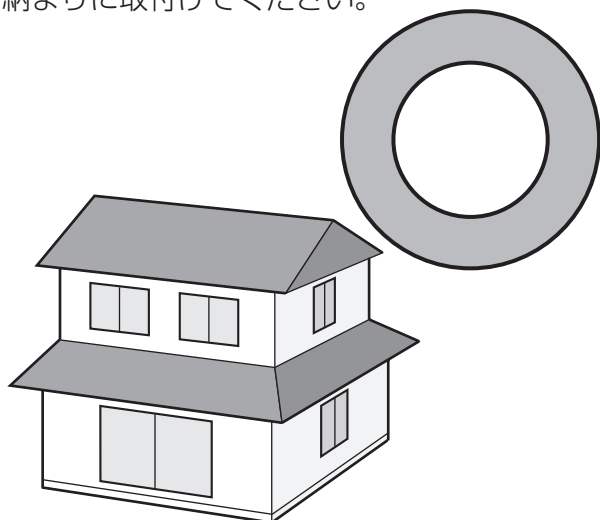
## 2.現場調査前確認事項

●改装用ドア リネスタ／リペラルは木造専用です。

※木造以外の躯体構造への取付けはできません。

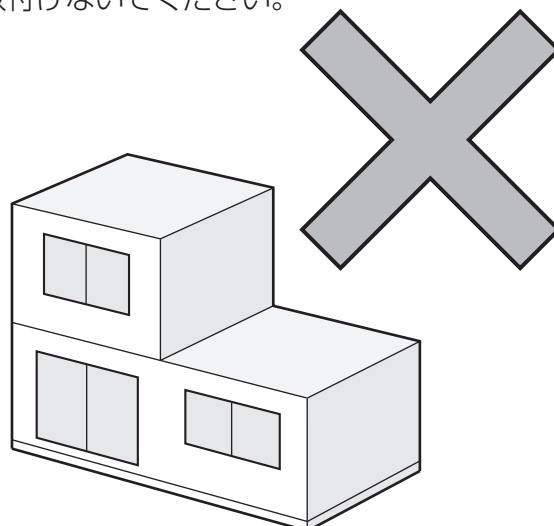
### ■取付け可

在来木軸工法、204構造など木造納まりに取付けてください。



### ■取付け不可

鉄骨造、RC造、ALC納まりなどには取付けないでください。

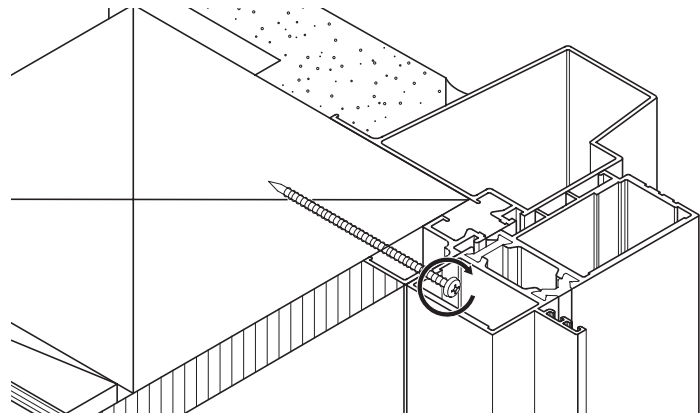
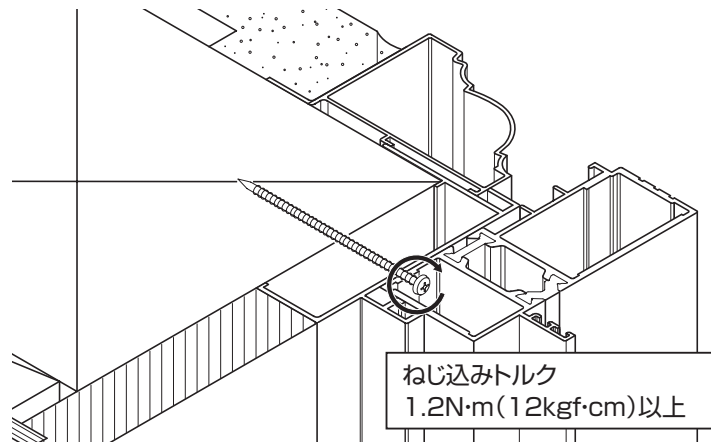
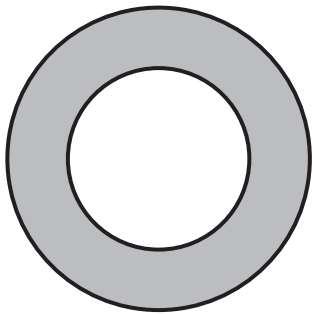


### 3-1.現場調査時確認事項

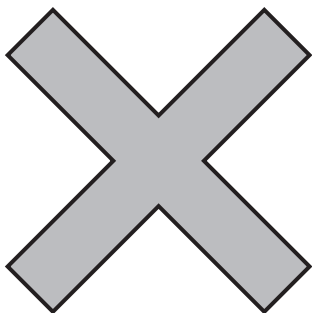
●躯体取付けねじのねじ込みトルクが $1.2\text{N}\cdot\text{m}$  ( $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) 以上あることを確認してください。

#### ■取付け可

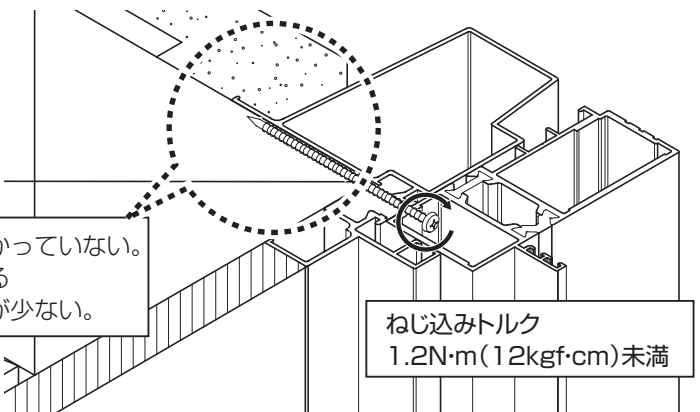
指定のねじ(上枠:皿タッピンねじ  $\phi 4\times 90$ 、縦枠:なべタッピンねじ  $\phi 4\times 60$ )が上記の柱位置で $1.2\text{N}\cdot\text{m}$  ( $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) 以上のねじ込みトルクがあることを確認してください。



#### ■取付け不可

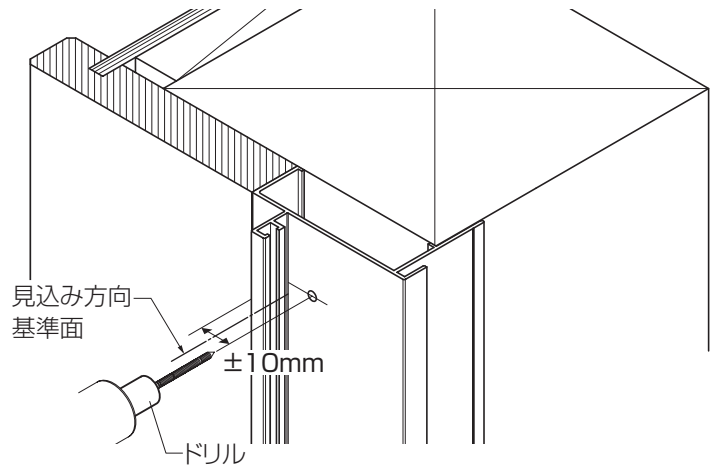


柱にねじがかかっていない。  
柱が腐っている  
ねじのかかりが少ない。



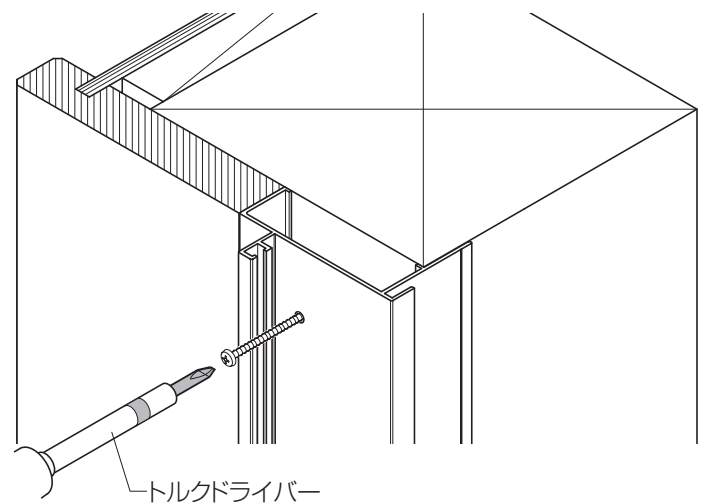
## 【ねじ込みトルクの確認方法】

①新しい枠を取付ける際の既設枠の見込み方向基準面付近±10mmの位置にφ5の穴をあけます。



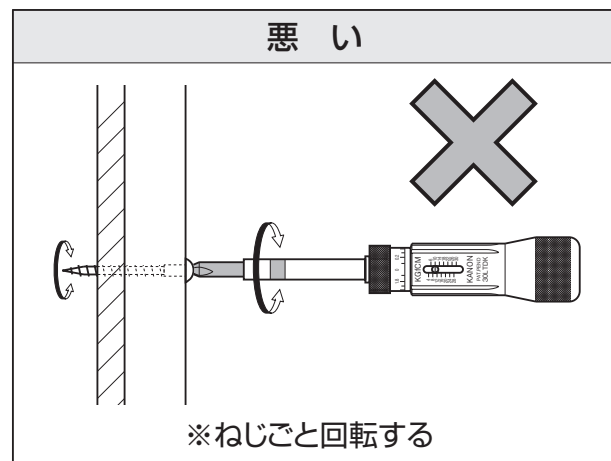
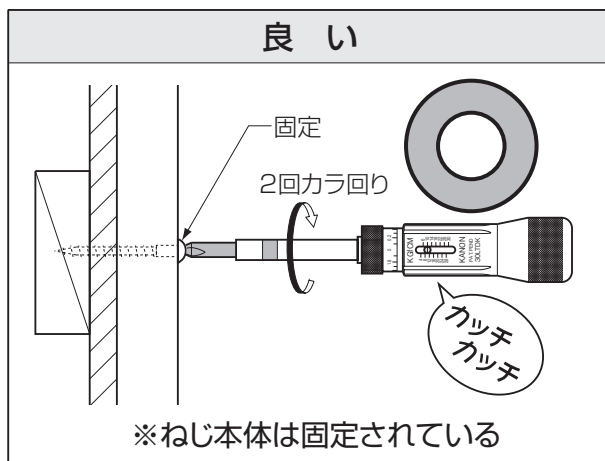
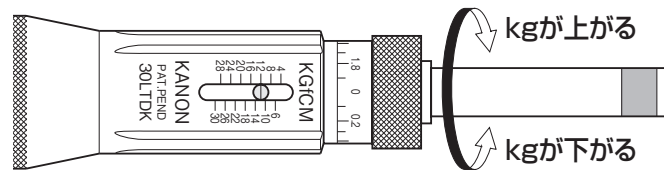
②新しい枠の取付けねじ（なべタッピンφ4×60(1種)）を用いて取付けます。そのときのねじ込みトルクは、 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$  ( $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ) 以上であることを確認してください。

※確認後の穴はシーリング処理にて穴をふさいでください。



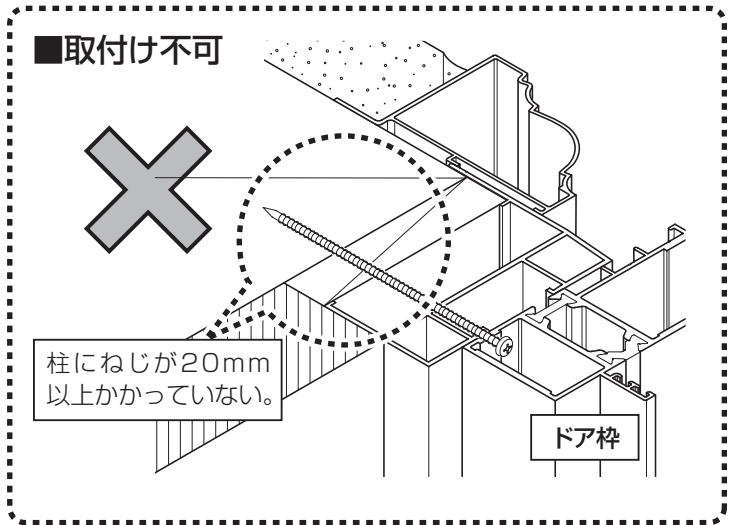
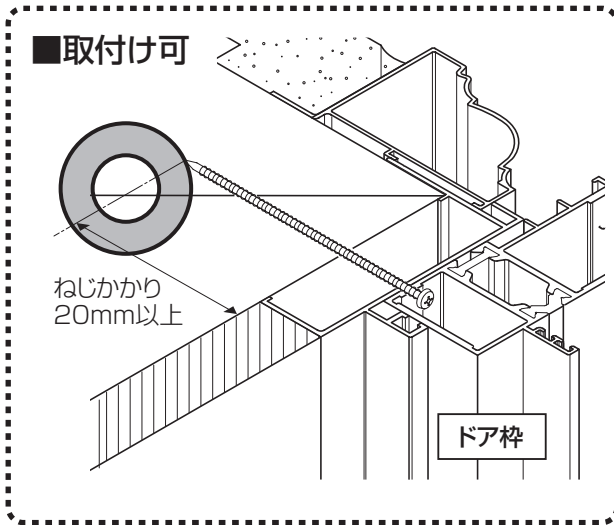
## ■トルクドライバー目盛合わせ

●トルクドライバー目盛り合せ設定  
 $1.2\text{N}\cdot\text{m}$  ( $12\text{kgf}\cdot\text{cm}$ )



### 3-2.現場調査時確認事項

● 桝取付けねじは柱（躯体）に20mm以上かかることを確認してください。

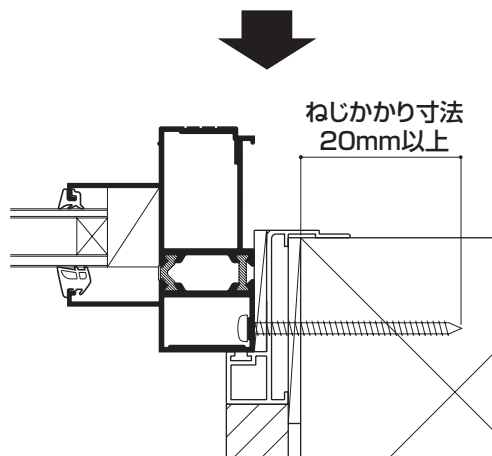
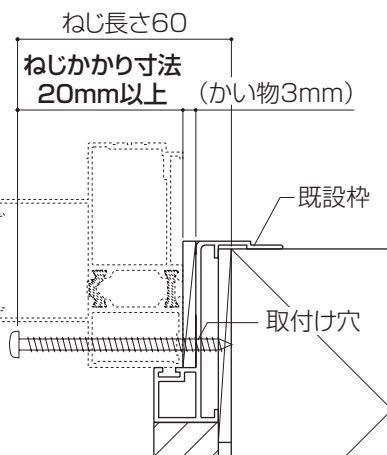


#### 〔ねじかかり寸法の確認方法〕

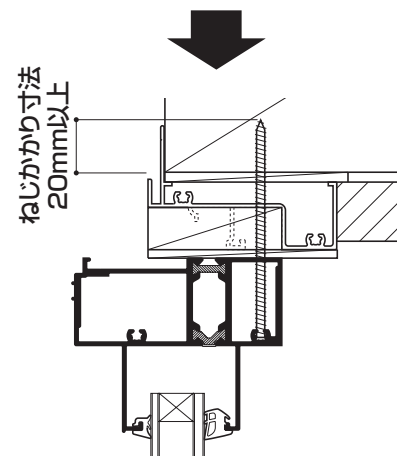
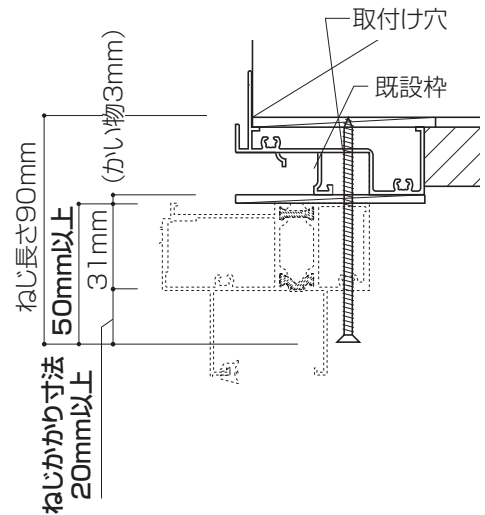
ねじ込みトルクの確認時にあけた既設桝の取付け穴にねじを入れ、取付け穴からねじ頭までの長さが上桝は50mm以上、縦桝は20mm以上であることを確認してください。

※縦桝用…ねじ長さ60mm  
※上桝用…ねじ長さ90mm

#### （縦桝の場合）



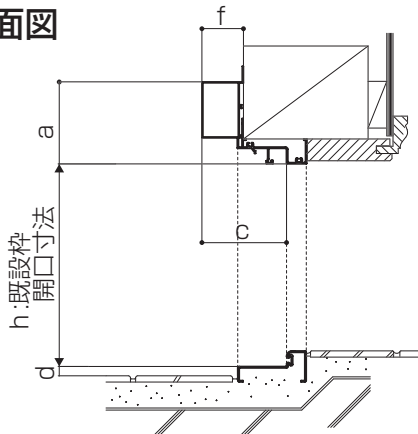
#### （上桝の場合）



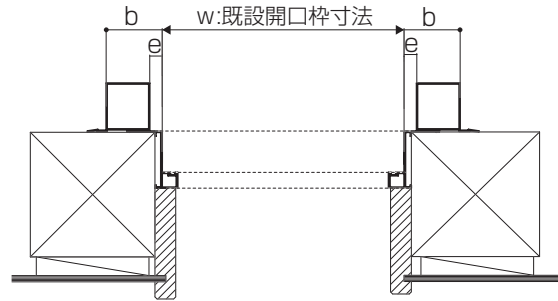
## 4.取付け現場の採寸時確認事項

※取付け現場の採寸は下記条件に適合するかを確認してください。

### ●縦断面図



### ●横断面図



### ①製品制作範囲による条件

●既設枠開口部の寸法測定を行い、製品基本寸法を測定し製品制作範囲内であることを確認ください。

#### ■製品基本寸法設定

●採寸箇所は上図に従ってh・w寸法を測定してください。

※既設枠開口寸法は、h・wとも各2箇所測定し小さい方の寸法に決めます。製品基本寸法は既設開口寸法より5mm程度小さくします。

既設枠開口寸法	換算公式	製品基本寸法
h1 :	H=h(小さい方)-5	H :
h2 :		
w1 :	W=w(小さい方)-5	W :
w2 :		

#### ■製品製作範囲

※下記は製品の特注製作範囲を示します。

※現場での切詰め製作範囲は、施工説明書に示します。

製品基本寸法	ランマ付き		製品基本寸法	ランマなし	
	片開き	親子		片開き	親子
H	1950≤H≤2600		H	1952≤H≤2452	
W	730≤W≤993	1015≤W≤1410	W	730≤W≤993	1015≤W≤1410

製品基本寸法		ランマ付き	
		片袖	両袖
H		1950≤H≤2600	
W	袖ポスト付	1115≤W≤1413	1414≤W≤1800
	袖ポストなし	1100≤W≤1413	1384≤W≤1800

### ②既設枠形状による条件

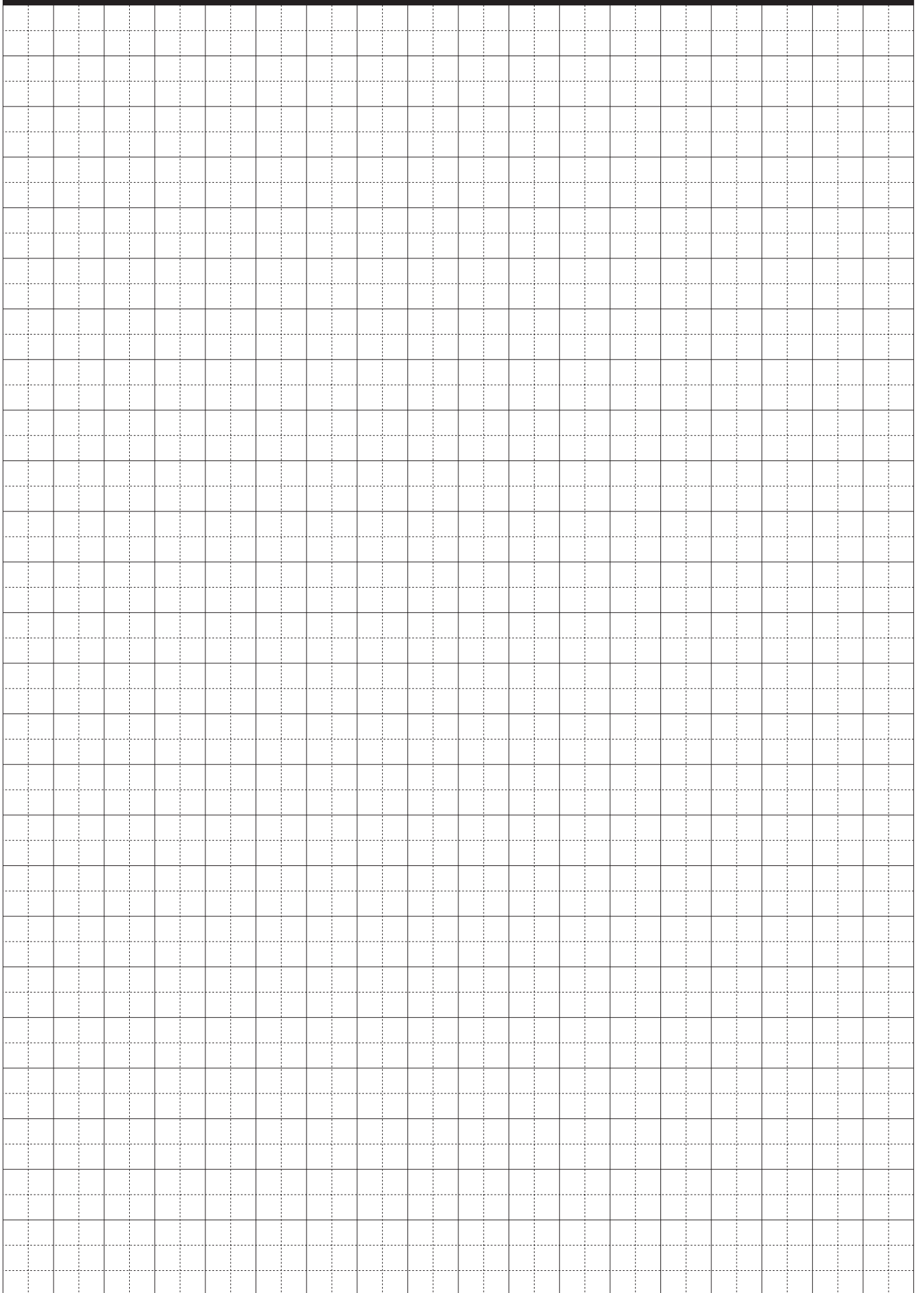
	既設枠寸法による条件
a :	a≥78のとき化粧額縁B、Dが取付けできません。
b :	b≥78のとき化粧額縁B、Dが取付けできません。
c :	c≥95のとき化粧額縁Bと既設枠額縁が干渉します。
	c-f≤59のとき化粧額縁Bと外壁にすき間ができます。 ※1
d :	d≤14のとき新下枠がポーチに接触します。
e :	e≤13のとき枠補強取付金具が取付けできません。

※1) 36≤c-f≤59の場合、壁厚調整材付きの化粧額縁Dを使用できます。

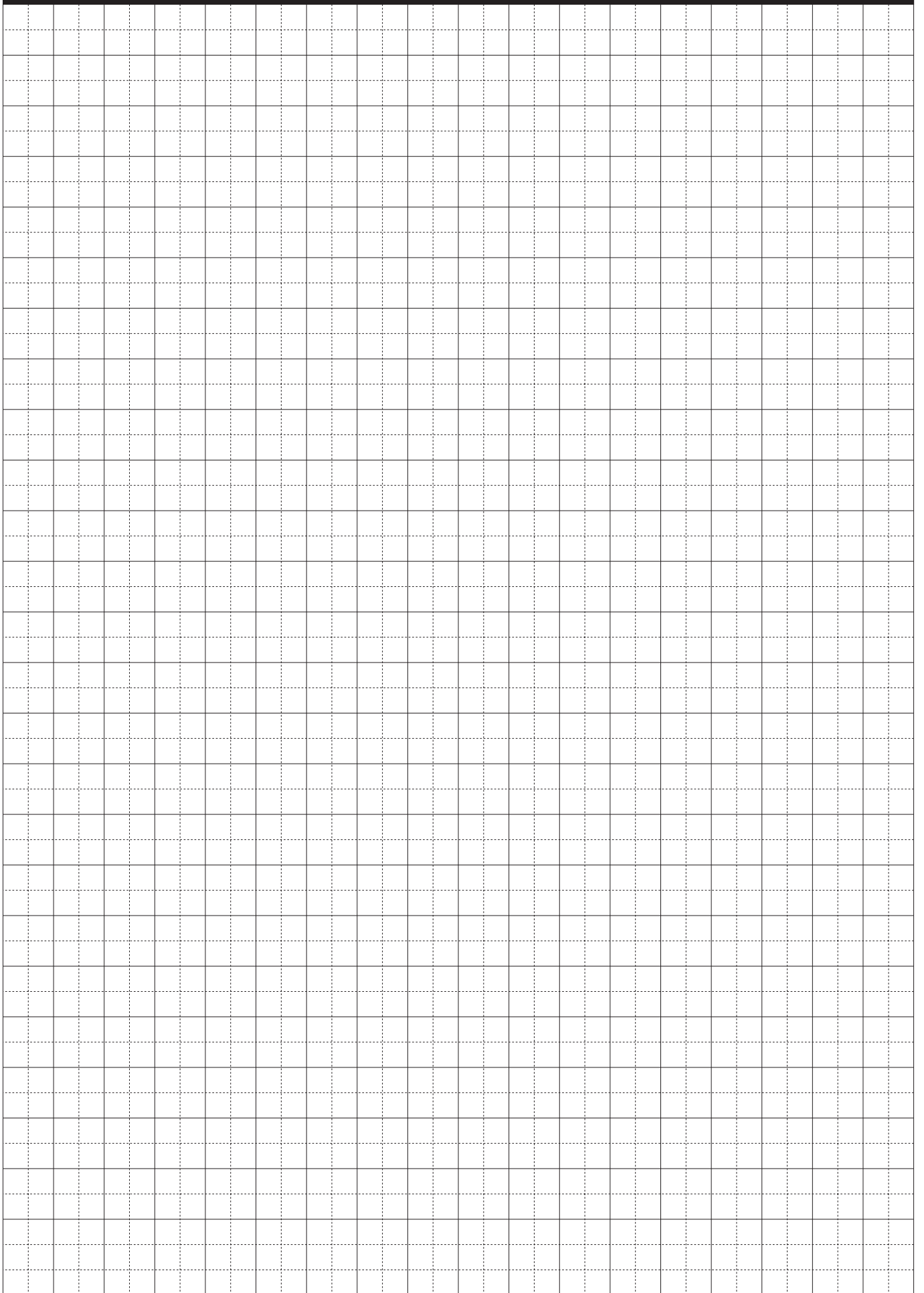
### ③周辺環境による条件

●軒天に化粧額縁が接触する、玄関照明がドア開閉時に接触する、入隅納まり時に化粧額縁が外壁と干渉するなどを採寸時にあわせて確認してください。

# MEMO



# MEMO





MAB-186E  
AZT6  
2007年12月1日発行



**トステム株式会社**

本社 〒136-8535東京都江東区大島 2-1-1